




私とマイデル



-  **メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意**：手順に従わない場合、ハードウェアの損傷やデータの損失が発生する可能性があることを示します。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2014 すべての著作権は Dell Inc. にあります。本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。Dell™ および Dell ロゴは、米国および/またはその他の管轄区域における商標です。本書に記載されているその他すべてのマークおよび名称は、それぞれの企業の商標である場合があります。

2014 年 8 月 Rev. A02

目次

Windows 8.1 の機能	12
サインイン	12
Microsoft アカウント	12
ローカルアカウント	12
コンピュータのロックとロック解除	12
デスクトップへのアクセス	13
コンピュータの電源を切る	13
スタート画面とタイル	14
アプリ	14
アプリを閉じる	14
アプリをスナップする	14
詳細情報	15
コンピュータのセットアップ	16
インターネットへの接続	16
LAN を使用したインターネットへの接続	16
WLAN を使用したインターネットへの接続	16
WWAN を使用したインターネットへの接続	17
オーディオのセットアップ	18
5.1/7.1 オーディオの設定	18
5.1 スピーカの接続	19
7.1 スピーカの接続	20
プリンタのセットアップ	21

ウェブカメラのセットアップ	22
内蔵ウェブカメラ	22
外付けウェブカメラ	22
Bluetooth のセットアップ	22
お使いのコンピュータについて	23
電源アダプタ	23
バッテリー	24
コイン型バッテリー	24
タッチパッド	25
ディスプレイ	25
タッチスクリーン	25
3D	25
3D カメラ	26
キーボード	26
物理的なキーボード	27
キーボード背面ライト	27
オンスクリーンキーボード	28
キーボードの接続タイプ	28
有線	28
ワイヤレス	28
サービスタグとエクスプレスサービスコード	29
コンピュータ上のラベルの位置	29
デルサポートサイト	29
BIOS セットアッププログラム	29

ストレージデバイス	30
内蔵ストレージデバイス	30
リムーバブルストレージデバイス	30
光学ドライブと光学ディスク	30
メモリカード	31
メモリモジュール	33
システム基板	34
チップセット	35
プロセッサ	35
コンピュータファン	36
サーマルグリース	36
ビデオカード	37
TV チューナー	38
内蔵	38
外付け	38
スピーカ	39
2.1 オーディオ	39
5.1 オーディオ	39
7.1 オーディオ	39
ウェブカメラ	40
ネットワーク	40
ローカルエリアネットワーク (LAN)	40
ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)	41
ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)	41
ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN)	41
モデム	42

ルーター	42
ネットワークインタフェースコントローラ (NIC)	42
ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) アダプタ	43
Bluetooth	43
近距離無線通信	43
コンピュータの使用	44
バッテリーの充電	44
キーボードの使用	44
キーボードのショートカット	44
キーボードショートカット — Windows 8.1/Windows RT	47
キーボードのカスタマイズ	48
キーボード入力言語の変更	48
ノートブックのテンキーパッドの使用	49
タッチパッドの使用	49
タッチパッドジェスチャ	50
スクロール	50
ズーム	51
回転	52
フリック	53
クイック起動	53
タッチスクリーンの使用	53
タッチスクリーンジェスチャ	54
ズーム	54
停滞	55
フリック	55
回転	55
スクロール	56

Bluetooth の使用	57
Bluetooth デバイスとコンピュータのペアリング	57
ウェブカメラの使用	58
静止イメージのキャプチャ	58
ビデオの録画	58
カメラとマイクの選択	58
ポートおよびコネクタ	59
オーディオ	59
オーディオポートのタイプ	59
USB	60
USB ポート	60
eSATA	61
ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA)	62
デジタルビジュアルインタフェース (DVI)	62
DisplayPort	62
Mini-DisplayPort	62
DisplayPort の利点	62
HDMI	63
HDMI の利点	63
ミニ HDMI	63
マイクロ HDMI	63
S/PDIF	63
ソフトウェアとアプリケーション	64
Computrace	64
Computrace の有効化	65
Computrace のサポート	65

My Dell Downloads	65
My Dell	66
My Dell のダウンロードまたはアップグレード	66
My Dell へのアクセス :	66
PC CheckUp	66
Solution Station	67
Solution Station 提供のサービス	68
Quickset	68
Quickset のインストール	69
NVIDIA 3D アプリケーション	69
3D ゲームのプレイ方法	69
キーボードのショートカット	70
DellConnect	71
オペレーティングシステムの復元	72
システムリカバリオプション	72
Dell Backup and Recovery	73
Dell Backup and Recovery Basic	73
Dell Backup and Recovery へのアクセス	73
システム再インストールディスクの作成	74
コンピュータの復元	74
Dell Backup and Recovery Premium	74
Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード	74
システムデータの復元	74
フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元	75
ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元	75
フルシステムバックアップの作成	75

Dell DataSafe Local Backup	75
Dell DataSafe Local Backup	76
Dell DataSafe Local Backup Basic	76
Dell DataSafe Local Backup の起動	76
システム再インストールディスクの作成	76
以前の日付の設定または工場出荷時の設定へのコンピュータの復元	77
Dell DataSafe Local Backup Premium	77
Dell DataSafe Local Backup Premium へのアップグレード	77
システムデータの復元	77
ファイルおよびフォルダローカルバックアップを使用したデータの復元	77
フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元	77
ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイル またはフォルダの復元	77
Dell Factory Image Restore	78
Dell Factory Image Restore へのアクセス	78
Dell Factory Image Restore の開始	78
システムの復元	79
Windows 8.1	80
システムの復元の使用	80
最後のシステムの復元を元に戻す	80
Windows 7	80
システムの復元の使用	80
最後のシステムの復元を元に戻す	80
オペレーティングシステムディスク	81
オペレーティングシステムディスクを使用したオペレーティングシステム の再インストール	81
システム再インストールディスク	81
システム再インストールディスクを使用したコンピュータの復元	81

トラブルシューティング	83
基本的なトラブルシューティング手順	83
Diagnostics (診断)	83
起動前システムアセスメント	83
PSA の起動	83
拡張 PSA	84
LCD BIST	85
LCD BIST の起動	85
ePSA の起動	86
ビープコード	87
BIOS	88
BIOS 設定の変更	88
BIOS セットアッププログラムの起動	88
BIOS パスワードのリセット	89
CMOS バッテリーの取り外し	89
システム基板ジャンパの使用	89
BIOS パスワードのリセット	89
起動順序の変更	90
起動メニューの使用	90
BIOS セットアッププログラムの使用	90
困ったときは / デルへのお問い合わせ	91
困ったときは	91
デルへのお問い合わせ	91


参考文献	92
コンピュータのメンテナンス	92
電力管理	92
電源設定の実行	93
電源ボタンの動作の設定	93
駆動時間の改善	94
Dell 長寿命モード	94
Dell デスクトップモード	95
移行のヒント	95
Windows オペレーティングシステムからの新しいオペレーテ ィングシステムへの移行	96
人間工学情報	96
デルと環境	98
規制順守ポリシー	99
規制順守ウェブサイトについての連絡先詳細	99
その他の規制順守情報	99

Windows 8.1 の機能

サインイン

Windows 8.1 には、Microsoft アカウントまたはローカルアカウントを使用してサインインすることができます。

Microsoft アカウント

 **メモ**：Microsoft アカウントを使用して初めてサインインするには、お使いのコンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

Microsoft アカウントを使用すると、設定、カスタマイズなどが、お使いの Microsoft アカウントおよび同じ電子メール ID でサインインするその他の Windows 8.1 デバイスと同期化されます。また、電子メール、OneDrive、およびその他のリンクされているアカウントをコンピュータ上のユーザープロファイルに関連付けます。お使いのコンピュータの設定は、必要に応じて復元できるように、Microsoft アカウントでバックアップされます。

既存の Microsoft アカウントを使用してサインインするには、電子メール ID とパスワードを入力します。

新規の Microsoft アカウントを作成するには、**メールアドレスを新規登録** をタップまたはクリックし、画面に表示されるに指示に従います。

ローカルアカウント

Microsoft アカウントを使わずにサインインする をタップまたはクリックし、画面に表示される指示に従います。


コンピュータのロックとロック解除

コンピュータのロック：

1. チャームバーにアクセスし、**スタート** をタップまたはクリックします。
2. 右上隅にあるお使いのアカウントピクチャをタップまたはクリックし、**ロック** を選択します。

コンピュータのロック解除：

1. 画面の下端から上方向にスワイプして（キーボードを使用している場合は任意のキーを押して）、ロック画面を消します。
2. ログオン画面で、選択した方法を使用してコンピュータにログインします。

 **メモ**：異なるサインイン方法を使用するには、**サインインオプション** をタップまたはクリックして、使用可能なオプションを表示します。

デスクトップへのアクセス

デスクトップインタフェース（旧バージョンの Windows など）にアクセスするには、**スタート** 画面で **デスクトップ** タイルをタップまたはクリックします。

コンピュータの電源を切る

スタート画面で、電源アイコン  → シャットダウンとクリックまたはタップします。

チャーム

チャームは、検索、共有、設定などの最も一般的なタスクへの素早いアクセスを提供します。チャームバーには、画面またはアクティブなアプリに応じて使用可能なチャームのリストが表示されます。チャームバーを開くには、画面の右端から内側方向にスワイプするか、マウスのポインタを画面の右上隅または右下隅に合わせます。マルチタッチタッチパッドを使用している場合は、タッチパッドの右端から内側方向にスワイプします。

最も一般的なチャームは、検索、共有、スタート、デバイス、および設定です。



検索

お使いのコンピュータおよびインターネット上でアプリ、設定、およびファイルを検索できます。



共有

写真、リンクなどを友人およびソーシャルネットワークで共有できます。



スタート

スタート画面と最後に使用したアプリを切り替えます。



デバイス

プリンタ、および他のコンピュータなどにファイルを送信できます。また、ビデオおよびオーディオを対応デバイス（TV など）に送信することもできます。



設定

通知、ボリューム調整、輝度調整、およびその他のコンピュータ設定にアクセスできます。

スタート画面とタイル

スタート画面からは、アプリ、友人、ファイルとフォルダなどにアクセスできます。スタート画面は、タイルの追加、サイズ変更、または削除によってカスタマイズすることが可能です。また、タイルの位置を変更したり、複数のタイルをグループにまとめることもできます。

タイルには自動的にアップデートされるものもあり、ニュースヘッドライン、ステータスアップデートなどを読むことができます。

また、キーワードを入力し、<Enter> キーをタップまたは押すことによってスタート画面から検索することもできます。

アプリ

アプリとは、Windows 8.1 のメトロインタフェースを活用するために特別に作成されたプログラムです。アプリは、フル画面モードで実行されます。これらのアプリは、Windows 8.1 インタフェース用に特別に設計されたものです。ヘルプ+ヒントタイルアプリタイルをタップまたはクリックすると、そのアプリが起動されます。

アプリを閉じる

- タッチスクリーンを使用している場合は、アプリを画面の下部までドラッグして放します。
- マウスを使用している場合は、アプリをクリックし、画面の上部から画面の下部までドラッグして放します。

アプリをスナップする

2つのアプリをスナップすることにより、それらを同時に表示することができます。アプリをスナップするには、次の手順を実行します。

1. アプリを2つ開きます。
2. 一方のアプリを画面の右側までドラッグして放し、そのアプリを画面の右側にドックします。
3. もう一方のアプリを画面の左側までドラッグして放し、そのアプリを画面の左側にドックします。

サイズ変更ボタンを押したままドラッグすることにより、アプリのサイズを変更することもできます。

詳細情報

Windows 8.1 およびその新機能についての詳細情報は、次のリソースから入手できます。


- **ヘルプ+ヒント** タイル
- **dell.com/support**
- **microsoft.com**

コンピュータのセットアップ


セットアップ手順はお使いのコンピュータによって異なります。お使いのコンピュータまたはタブレット固有のセットアップ手順については、そのコンピュータまたはタブレットに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または dell.com/support を参照してください。

インターネットへの接続


コンピュータのインターネットへの接続には、ケーブル、DSL、ダイヤルアップ、または WWAN 接続を使用することができます。有線またはワイヤレスルーターを設置して、複数のデバイスでケーブルまたは DSL 接続を共有することも可能です。ケーブルおよび DSL モデムの中には、ワイヤレスルーターが内蔵されているものもあります。

 **メモ：** ケーブルまたは DSL モデムを使用してコンピュータをインターネットに接続する前に、ブロードバンドモデムとルーターが設定済みであることを確認してください。モデムとルーターのセットアップについては、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。



LAN を使用したインターネットへの接続

1. イーサネットケーブルをモデムまたはルーター、およびお使いのコンピュータに接続します。
2. モデムまたはルーター、およびコンピュータのアクティビティライトをチェックします。
 **メモ：** 一部のコンピュータにはアクティビティライトが装備されていません。
3. ウェブブラウザを開いてインターネット接続を確認します。



WLAN を使用したインターネットへの接続

 **メモ：** お使いのコンピュータで Wi-Fi が有効になっていることを確認してください。コンピュータでワイヤレスを有効にする方法については、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または dell.com/support を参照してください。

Windows 8.1/Windows RT

1. お使いのコンピュータまたはタブレットでワイヤレスが有効になっていることを確認します。
2. チャームサイドバーで **設定** を選択します。
3.  を選択します。
4. 接続先となるネットワークをクリックします。
5. プロンプトが表示された場合は、ネットワークパスワードを入力します。
 **メモ：** ネットワークパスワードは、ルーターのセットアップ時に設定した場合と、デフォルトネットワークパスワードがルーターに設定されている場合があります。詳細についてはルーターの製造元にお問い合わせください。
6. オプションで、ファイル共有をオンまたはオフにします。

Windows 7


1. お使いのコンピュータまたはタブレットでワイヤレスが有効になっていることを確認します。
2. タスクトレイで  を選択します。
3. 接続先となるネットワークをクリックします。
4. プロンプトが表示された場合は、ネットワークパスワードを入力します。
 **メモ**：ネットワークキーは、ルーターのセットアップ時にご自身で設定した場合と、ルーターにデフォルトネットワークキーが設定されている場合があります。詳細についてはルーターの製造元にお問い合わせください。
5. オプションで、ファイル共有をオンまたはオフにします。

WWAN を使用したインターネットへの接続

WWAN 接続では、ノートブックまたはタブレットをインターネットに接続するためにモデムやルーターは必要ありません。コンピュータ上の WWAN カードは、携帯電話のようにサービスプロバイダのネットワークに直接接続します。

ネットワークサービス契約付きのタブレットをご購入いただいた場合は、インターネットがすでにアクティブ化されていることがあります。

Windows 8.1/Windows RT

1. お使いのコンピュータまたはタブレットでワイヤレスが有効になっていることを確認します。
2. チャームサイドバーで **設定** を選択します。
3.  を選択します。
4. 接続先となるネットワークをクリックします。

Windows 7




1. **スタート**  をクリックし、検索ボックスに Mobile Broadband Utility と入力して <Enter> を押します。
2. Mobile Broadband Utility ウィンドウで **Connect** (接続) をクリックします。

オーディオのセットアップ

Dell ノートブックおよびタブレットには、2 チャンネルオーディオをサポートするスピーカーが内蔵されています。内蔵スピーカーを使用するには、メディアを再生し、ボリュームを好みのレベルに設定します。

Dell コンピュータおよびタブレットは 3.5 mm オーディオポートをサポートしており、外付けスピーカーに接続することも可能です。2 チャンネルオーディオをセットアップする場合は、スピーカーを 3.5 mm ヘッドフォンポートまたはオーディオポートに接続します。

一部の Dell デスクトップは 5.1/7.1 オーディオをサポートします。5.1/7.1 オーディオをセットアップする場合は、最良のオーディオ出力を得るために適切なポートにスピーカーを接続する必要があります。

-  **メモ**：コンピュータまたはタブレットで使用できるポートの詳細については、dell.com/support で「Specifications」（仕様）を参照してください。
-  **メモ**：最良の結果を得るには、お使いのスピーカーに同梱のマニュアルに記載されているとおりにスピーカーを設置してください。
-  **メモ**：外付けのサウンドカードを使用するコンピュータでは、スピーカーはそのカードのコネクタに接続します。



5.1/7.1 オーディオの設定

マルチチャンネルのオーディオ出力を提供するようにコンピュータを設定します。

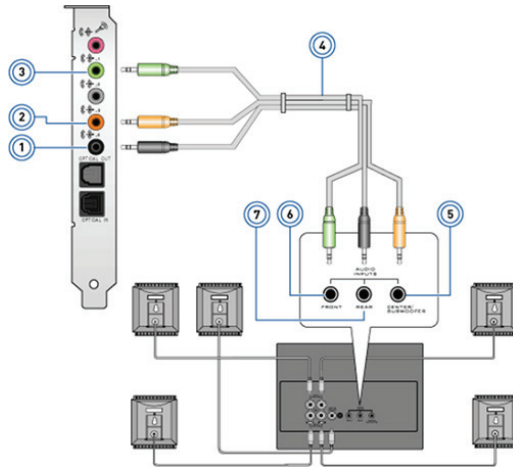
Windows 8.1

1. **検索** チャームにアクセスします。
2. **設定** をクリックし、検索ボックスにオーディオと入力します。
3. **オーディオデバイスの管理** をクリックします。
4. **スピーカー / ヘッドフォン** をクリックします。
5. **次へ** をクリックします。
6. **構成** をクリックして、**テスト** をクリックします。全てのスピーカーから音が聞こえます。
7. **完了** をクリックします。

Windows 7

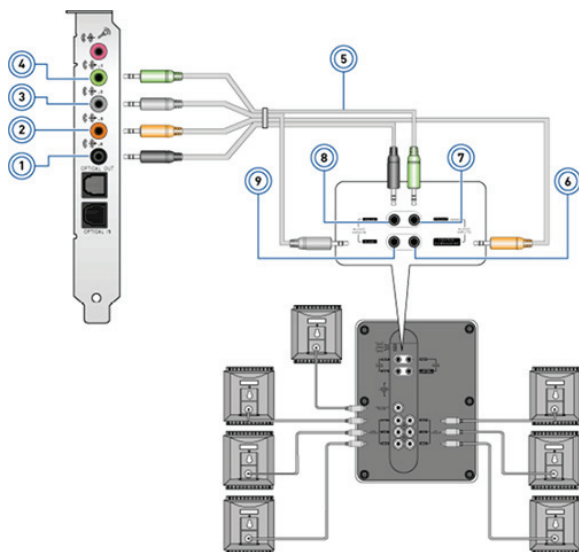
1. **スタート**  をクリックし、検索ボックスに Sound と入力し、<Enter> を押しします。表示された結果で **サウンド** をクリックします。または、**スタート**  → **コントロールパネル** → **ハードウェアとサウンド** → **サウンド** をクリックします。
2. **スピーカー** を選択し、**構成** をクリックします。**スピーカーのセットアップ** ウィンドウが開きます。
3. **オーディオチャンネル**：の下でスピーカーの設定を選択し、**テスト** をクリックします。各スピーカーから再生音が聞こえます。
4. **次へ** をクリックして画面の指示に従います。

5.1 スピーカの接続



- | | | | |
|---|-------------------------|---|------------------------|
| 1 | コンピュータのリアオーディオコネクタ | 5 | スピーカのセンター /LFE サラウンド出力 |
| 2 | コンピュータのセンター/LFE サラウンド出力 | 6 | スピーカのフロントオーディオコネクタ |
| 3 | コンピュータのフロントオーディオコネクタ | 7 | スピーカのリアオーディオコネクタ |
| 4 | 5.1 チャンネルオーディオケーブル | | |


7.1 スピーカの接続



- | | | | |
|---|---------------------------|---|------------------------|
| 1 | コンピュータのリアオーディオコネクタ | 6 | スピーカのセンター /LFE サラウンド出力 |
| 2 | コンピュータのセンター / LFE サラウンド出力 | 7 | スピーカのフロントオーディオコネクタ |
| 3 | コンピュータのサイドオーディオコネクタ | 8 | スピーカのリアオーディオコネクタ |
| 4 | コンピュータのフロントオーディオコネクタ | 9 | スピーカのサイドオーディオコネクタ |
| 5 | 7.1 チャンネルオーディオケーブル | | |

プリンタのセットアップ


プリンタは USB を使用してお使いのコンピュータに接続することができます。一部のプリンタでは、Wi-Fi および Bluetooth 接続もサポートされています。

 **メモ**：プリンタでサポートされる機能とプリンタの取り付け手順は、プリンタのモデルによって異なります。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。


有線のプリンタを取り付ける場合は、次の手順を実行する前に USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。ワイヤレスプリンタを取り付ける場合は、プリンタのマニュアルの説明に従います。


Windows 8.1

1. **検索** チャームにアクセスします。
2. **設定** をクリックし、検索ボックスに Devices と入力します。
3. **デバイス** をクリックし、画面上の指示に従います。

 **メモ**：プリンタが取り付けられている場合は、右側のリストにそのプリンタが表示されます。お使いのプリンタがリストにない場合は、デバイスリストの一番上で **デバイスの追加** をクリックします。このリストからお使いのプリンタを選択し、インストールします。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。

Windows 7

1. **スタート**  → **デバイスとプリンタ** をクリックします。
2. **プリンタの追加** をクリックします。**プリンタの追加ウィザード** が表示されます。
3. **プリンタの追加ウィザード** の指示に従います。

 **メモ**：プリンタを追加中、プリンタドライバのインストールするためのプロンプトが表示される場合があります。プリンタドライバメディアを使用するか、プリンタ製造元のウェブサイトからドライバをダウンロードしてください。プリンタのセットアップの詳細については、プリンタに同梱のマニュアルを参照してください。

ウェブカメラのセットアップ

内蔵ウェブカメラ

内蔵ウェブカメラは、ノートブックのディスプレイまたは外付けディスプレイに搭載されています。コンピュータと一緒にウェブカメラをご注文いただいた場合は、コンピュータがお手元に届いた時点でドライバとソフトウェアがインストール済みです。再インストールには、コンピュータに同梱のメディアのみを使用してください。ウェブカメラの使用方法については、「[ウェブカメラの使用](#)」を参照してください。

外付けウェブカメラ

ウェブカメラの全機能を使用するには、お使いのウェブカメラに同梱のメディアを使用して、ドライバおよびその他必要なソフトウェアをインストールしてください。詳細については、ウェブカメラに同梱のマニュアルを参照してください。

Bluetooth のセットアップ

ワイヤレスをオンにすることによって、コンピュータで Bluetooth を有効にすることができます。ノートブックとタブレットのほとんどは、Bluetooth カードが内蔵された状態で出荷されています。

コンピュータまたはタブレットとデバイスをペアリングするには、お使いのデバイスのマニュアルを参照してください。

 **メモ：** コンピュータまたはタブレットに内蔵 Bluetooth カードが装備されているかどうかを確認するには、dell.com/support でお使いのコンピュータまたはタブレットの「Specifications」（仕様）を参照してください。

お使いのコンピュータについて

電源アダプタ

電源アダプタは、ノートブックコンピュータ、および一部のデスクトップコンピュータに対して電力を供給するために使用されます。デルの電源アダプタキットは、電源アダプタと電源ケーブルで構成されています。電源アダプタの定格（65W、90W など）は、その使用対象となるコンピュータによって異なり、電源ケーブルは電源アダプタが出荷される国によって異なります。

△ **注意：お使いのコンピュータの損傷を避けるため、コンピュータに同梱の電源アダプタ、またはデル承認済みの交換用電源アダプタのみを使用してください。**





バッテリー

バッテリーは、主に電力定格（45W時、65W時など）によって分類されます。バッテリーを使用することにより、コンセントに接続されていなくてもデバイスを使用することが可能になります。

バッテリーのライフサイクルとは、動作時間に大きな影響を与えることなく放電と再充電を繰り返すことができる回数です。バッテリーライフサイクルの寿命に達したら、バッテリーを交換する必要があります。

コンピュータのモデルによっては、搭載されているバッテリーがユーザー交換可能である場合や、デルサービス技術者による交換が必要となる場合があります。

-  **メモ**：大容量バッテリーは、容量の小さいバッテリーと比べて充電する頻度が低くなることから、通常ライフサイクルが長くなります。
-  **メモ**：コンピュータのバッテリー寿命を向上させる方法については、「[駆動時間の改善](#)」を参照してください。

コイン型バッテリー


コイン型バッテリーは、コンピュータの電源がオフになっている間に相補型金属酸化膜半導体（CMOS）チップに電力を供給します。CMOS チップには、時刻、日付、およびお使いのコンピュータに関するその他の設定情報が保存されています。

通常の使用状況では、コイン型バッテリーは数年間持続します。コイン型バッテリーの寿命に影響を及ぼす要素には、システム基板のタイプ、温度、コンピュータの電源が切れている時間などがあります。



タッチパッド

タッチパッドはほとんどのノートブックで使用可能であり、マウスの機能を提供して、指の動きと位置を検知する接触検知面を備えています。タッチパッドを使用して、カーソルの移動、選択したアイテムのドラッグまたは移動を行ったり、表面をタップすることによってクリックすることができます。ジェスチャ機能対応のタッチパッドでは、ズーム、ピンチ、回転、スクロールなどのジェスチャがサポートされます。また、外付けのタッチパッドを購入することもできます。

 **メモ**：タッチパッドの使用についての情報は、「[タッチパッドの使用](#)」を参照してください。


ディスプレイ


ディスプレイは、画面サイズ、解像度、色域などに基づいて分類されます。通常、解像度が高く、色のサポートに優れている画面ほど、高画質になります。外付けディスプレイには、USBポート、メディアカードリーダーなどを備えているものもあります。

ディスプレイは、タッチスクリーン、3D、ワイヤレス接続などもサポートしている場合があります。

タッチスクリーン


タッチスクリーンは、マウス、タッチパッド、またはキーボードを使用する代わりに、ディスプレイに触れることによって画面上のオブジェクトを操作できるディスプレイデバイスです。タッチスクリーンは、指、またはスタイラスなどの別のパッシブ型オブジェクトを使用して操作することができます。タッチスクリーンは、電話、タブレット、コンピュータなどによく利用されています。一般に使用されているタッチスクリーンテクノロジーは、静電容量結合方式と抵抗膜方式です。

 **メモ**：一部のコンピュータではタッチスクリーンがサポートされない場合があります。

 **メモ**：タッチスクリーンの使用についての情報は、「[タッチスクリーンの使用](#)」を参照してください。

3D

3D対応ディスプレイは、3Dイメージとビデオを表示することができます。3Dは左目と右目にそれぞれ異なる2Dイメージを見せることによって実現されます。これらのイメージは、脳によって奥行きのある1つのイメージとして統合および解釈されます。

 **メモ**：3Dイメージの閲覧を可能にするには、専用の3Dメガネが必要になる場合があります。

3D カメラ

3D カメラでは、三次元の画像をキャプチャしてストリーミングできるため、対象物までの距離、対象物のサイズ、寸法を内蔵センサーを通して把握することができます。これにより、ビデオ会議やオンラインゲームなどでよりインタラクティブな体験が可能になります。

ワイヤレスディスプレイ

ワイヤレス機能により、ケーブルを使用せずにコンピュータディスプレイを対応 TV と共有することが可能になります。お使いの TV がこの機能をサポートしているかどうかについては、TV のマニュアルを参照してください。

ワイヤレスディスプレイをセットアップするための最小要件は次のとおりです。

プロセッサ	Intel Core i3-3xx
ビデオコントローラ	Intel HD グラフィックス
ワイヤレス LAN カード	Intel Centrino 6100/6200/6300 または Intel Centrino Advanced-N + WiMAX 6250
オペレーティングシステム	Windows 7 以降。
ドライバ	dell.com/support で入手可能な最新のワイヤレスカードドライバと Intel Wireless Display Connection Manager

 **メモ：**一部のコンピュータではワイヤレスディスプレイがサポートされない場合があります。

キーボード

キーボードは、文字の入力、およびショートカットキーを使用した特別な機能の実行を可能にします。使用可能なキーおよび文字の数は、キーボードが出荷される国によって異なる場合があります。

ノートブックにはキーボードが組み込まれています。タブレットには通常オンスクリーンキーボードが搭載されており、一部のタブレットは外付けのキーボードもサポートします。Dell デスクトップには、USB またはワイヤレス信号を使用して接続される外付けのキーボードがあります。

キーボード上で使用できる共通キーは次のとおりです。

- 英字、数字、句読点、および記号を入力するための英数字キー
- マルチメディアおよびアプリケーションのショートカットキー
- <Ctrl>、<Alt>、<Esc>、Windows キーなどの制御キー
- 特定のタスクを実行したり、特定の機能を起動するショートカットキー
- ファンクションキー (<F1>~<F12>)

- 文書またはウィンドウ内でカーソルをさまざまな場所に移動させるための、<Home>、<End>、<Page Up>、<Page Down>、<Delete>、<Insert>、および矢印キーのナビゲーションキー

物理的なキーボード

物理的なキーボードは、ノートブックコンピュータおよびデスクトップコンピュータと共に使用されます。ノートブックには通常キーボードが組み込まれており、外付けのキーボードは一般にデスクトップコンピュータで使用されます。キーボードによっては、音量調整用のキー、アプリケーションショートカット、組み込みタッチパッド、プログラム可能なショートカットキー、背面ライトなどの機能が搭載されていることもあります。




キーボード背面ライト

一部の物理キーボードにある背面ライトは、キーの記号を照らすことによって、暗い環境でもキーボードを使用することを可能にします。背面ライトは手動でオンにすることも、コンピュータが暗い環境に配置されたときに自動的にオンになるように設定することもできます。



Dell ノートブックの背面ライト付きキーボードには、さまざまな照明状態があります。<Fn> を押し続けたまま右矢印キーを押すと、さまざまな照明状態に切り替わります。

 **メモ**：一部のコンピュータでは背面ライト付きキーボードを使用できない場合があります。お使いのコンピュータで背面ライト付きキーボードが使用可能かどうかを確認するには、dell.com/support でお使いのコンピュータの仕様を参照してください。

オンスクリーンキーボード

オンスクリーンキーボードは、ほぼすべてのコンピュータおよびタブレットで利用できますが、通常はタブレットやオールインワンコンピュータなどのタッチスクリーンデバイスで使用されます。キーは、マウスを使用して選択することも、タッチスクリーンのキーをタッチして選択することもできます。

キーボードの接続タイプ

キーボードはケーブル（有線）またはワイヤレス信号（ワイヤレス）を使用してコンピュータに接続することができます。

有線

有線キーボードはケーブル（通常 USB）を使用して接続され、バッテリーなどの追加の電源は必要ありません。

ワイヤレス

ワイヤレスキーボードは、無線周波数（RF）または Bluetooth（BT）を使用してお使いのコンピュータに接続します。これにより、ケーブルの散乱が軽減され、コンピュータから数メートル内にあるより快適な場所からキーボードを使用する柔軟性が実現します。このようなキーボードには、動作用のバッテリーが必要になります。

RF テクノロジーを使用するキーボードには通常、コンピュータに接続する必要があるレシーバが同梱されています。Bluetooth キーボードは、コンピュータの組み込み Bluetooth カード、または外付けの Bluetooth アダプタとペアリングすることができます。

サービスタグとエクスプレスサービスコード

お使いのコンピュータのサービスタグおよびエクスプレスサービスコードは、次のいずれかを使用して確認できます。


- コンピュータまたはタブレットにあるラベル
- コンピュータ上の My Dell タイルまたは My Dell ソフトウェア。詳細については、「[My Dell](#)」を参照してください。
- dell.com/support のデルサポートサイト
- BIOS セットアッププログラム

コンピュータ上のラベルの位置

ノートブック - ノートブックの底面（システムバッジの下またはバッテリーベイ内）

デスクトップ - コンピュータシャーシの背面または上面

タブレット - タブレットの背面


 **メモ**：お使いのデバイス上でのラベルの具体的な位置については、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）を参照するか、dell.com/support にある同様のマニュアルを参照してください。

デルサポートサイト

1. dell.com/support にアクセスします。
2. **サービスタグの検出** をクリックし、画面に表示された手順を実行します。

BIOS セットアッププログラム

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. Dell のロゴが表示されたら F2 プロンプトが表示されるまで待ち、表示されたらすぐに<F2>を押して BIOS セットアッププログラムを起動します。

 **メモ**：F2 プロンプトは短い時間しかアクティブになりません。プロンプトを見逃した場合は、コンピュータがデスクトップまで起動するのを待ってから、コンピュータの電源を切って再試行してください。

3. **Main**（メイン）タブに移動し、**Service Tag**（サービスタグ）を探します。システムセットアップの詳細については、dell.com/support でお使いのコンピュータの『サービスマニュアル』を参照してください。

ストレージデバイス

ストレージデバイスでは、データを保存して後で使用することができます。ストレージデバイスは、内蔵または外付けにすることが可能です。ほとんどのストレージデバイスは、データが手動で削除されるまで、そのデータを保存します。ストレージデバイスの例には、ハードディスクドライブ（HDD）、ソリッドステートドライブ（SSD）、光学ディスクドライブ、フラッシュドライブなどがあります。

内蔵ストレージデバイス

内蔵ストレージデバイスはコンピュータの内部に取り付けられ、通常コンピュータの電源が入っている間は取り外すことができません。最も一般的な内蔵ストレージデバイスは、HDD および SSD です。

HDD と SSD は、SATA インタフェースを使用して情報を転送します。SSD は外形的にも HDD と同等であるため、既存のコンピュータに対する互換性があります。

HDD にはディスクプラッタが搭載されているのに対し、SSD にはフラッシュメモリが搭載されていることから、SSD は高速性、静音性、エネルギー効率、耐衝撃性のすべてにおいて優れています。

リムーバブルストレージデバイス

コンピュータの電源を切らずにコンピュータから取り外すことが可能なストレージデバイスは、リムーバブルストレージデバイスと呼ばれます。よく使用されるリムーバブルストレージデバイスは次のとおりです。

- 光学ディスク
- メモリカード
- フラッシュドライブ
- 外付けハードドライブ

光学ドライブと光学ディスク

お使いのコンピュータでは、DVD RW ドライブ、または DVD RW と Blu-ray のコンボドライブがサポートされている場合があります。光ディスクには、読み取り専用、一回だけ書き込みが可能、または書き換え可能型があります。

一般的なドライブタイプは次のようなドライブがあります。

- Blu-ray ライター – Blu-ray Disc、DVD、および CD を読み書きします。
- Blu-ray リーダー + DVD RW コンボ – Blu-ray Disc を読み取り、DVD と CD を読み書きします。
- DVD RW – DVD と CD を読み書きします。

メモ리카ード

メモ리카ード（メディアカードまたはフラッシュカードとも呼ばれます）は、フラッシュメモリを使用してデータを保存します。これらは、書き換え可能かつ高速であり、電力供給が途絶えてもデータを保持します。これらは、デジタルカメラ、携帯電話、メディアプレイヤー、ゲームコンソールなどのデバイスでよく使用されています。お使いのコンピュータには、これらのカードを読み書きするためのメディアカードリーダーが搭載されている場合があります。

一般的なメモ리카ードのタイプには次のようなカードがあります。

セキュアデジタル（SD） / セキュアデジタル高容量（SDHC）



セキュアデジタル拡張容量（SDXC）（ウルトラハイスピード（UHS）対応カード）



セキュアデジタル miniSD



マルチメディアカード（MMC）



マルチメディアカードプラス（MMC+）



マルチメディアカード（MMC）モバイル



RS MMC



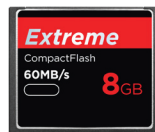
Extreme Digital (xD)



メモリスティック XC (MSXC)



コンパクトフラッシュ I、II/ コンパクトフラッシュ MD



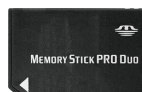
メモリスティック Duo



メモリスティック PRO Duo



メモリスティック Pro-HG Duo



メモリスティック (MS) / メモリスティック Pro (MS Pro)



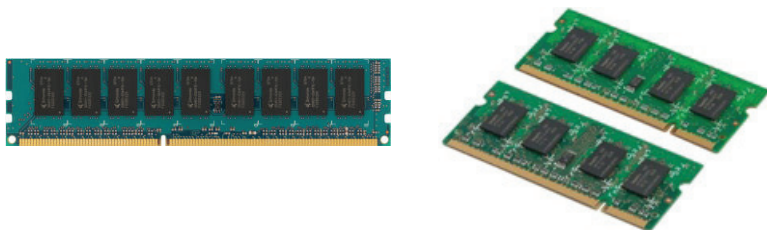
スマートメディア / スマートメディア XD



メモリモジュール

メモリモジュールは、コンピュータがタスクを実行するために必要とする一時的なデータを保存します。ファイルまたはアプリケーションは、メモリモジュールにロードされてから、開いたり使用することが可能になります。メモリモジュールは、容量（GB）と速度（MHz）に基づいて分類されます。一般に、高速で大容量のメモリほど、優れたパフォーマンスを提供します。一般的なメモリモジュールは次のとおりです。

- デュアルインラインメモリモジュール（DIMM） - デスクトップコンピュータで使用されます。
- スモールアウトラインデュアルインラインメモリモジュール（SODIMM） - DIMMよりも小型になっており、一般的にノートブックコンピュータで使用されますが、小型のデスクトップやオールインワンコンピュータで使用されることもあります。



システム基板

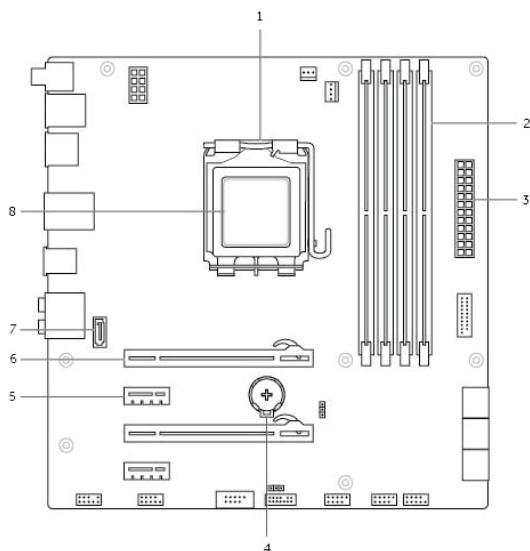
システム基板はコンピュータの中心部を構成します。ほかのすべてのデバイスは、互いに情報をやりとりできるようにシステム基板に接続します。システム基板は、コンピュータの各種コンポーネント間におけるデータ交換に役立つさまざまなコントローラおよびコネクタを搭載しています。システム基板には、内蔵グラフィック機能、サウンド機能、およびネットワーク機能が備わっていることもあります。

システム基板の重要なコンポーネントには、次のようなコンポーネントがあります。

- プロセッサソケット
- メモリモジュールコネクタ
- 拡張カードスロット
- BIOS 保存用の CMOS

下の図は、デスクトップシステム基板の基本的なコンポーネントを示しています。

メモ: コンポーネントのサイズ、形状、および位置は、システム基板のタイプおよびその使用対象となるコンピュータに応じて異なる場合があります。



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 プロセッサソケット | 2 メモリモジュールコネクタ |
| 3 電源コネクタ | 4 バッテリソケット |
| 5 PCI-Express x1 コネクタ | 6 PCI-Express x16 コネクタ |
| 7 eSATA コネクタ | 8 プロセッサ |

チップセット

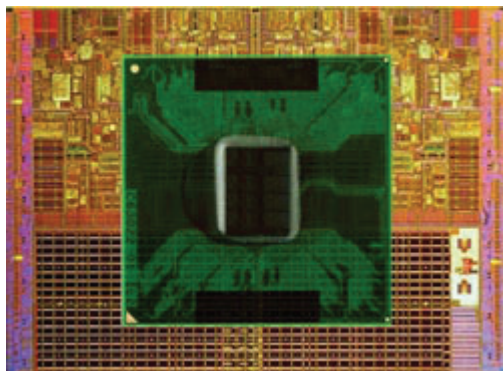
チップセットは、システム基板上のコンポーネントの制御を提供し、各コンポーネント間の通信を可能にします。一般に、チップセットはシステム基板の一部ですが、新世代のプロセッサの中には、チップセットがプロセッサに統合されているものもあります。

プロセッサ

プロセッサは、アプリケーションからデータおよび命令を受け取り、ソフトウェアが要求したとおりにデータを処理します。

プロセッサは、デスクトップ用、ノートブック用、モバイルデバイス用など、それぞれに対して専用に設計されます。通常、あるデバイスタイプ用に設計されたプロセッサは、ほかのタイプのデバイスで使用することはできません。

ノートブックおよびモバイルデバイス用に設計されたプロセッサは、デスクトップやサーバー用に設計されたプロセッサに比べて消費する電力が少なくなります。



プロセッサは、主に次の基準に基づいて分類されます。

- 処理コアの数
- ギガヘルツ（GHz）またはメガヘルツ（MHz）で測定された速度または周波数
- 組み込みメモリ（キャッシュ）

これらの特徴は、プロセッサのパフォーマンスも左右します。一般に、値が大きいほどパフォーマンスが向上します。プロセッサによっては、システム基板に統合されている場合もあります。

プロセッサメーカーには、Intel、AMD、Qualcomm などがあります。

コンピュータファン

コンピュータファンは、高温の空気をコンピュータから排出することによってコンピュータの内蔵コンポーネントを冷却するもので、通常、電力消費量が多く、その結果として大量の熱を発生するコンポーネントを冷却するために使用されます。コンポーネントを低温に維持することは、過熱、誤動作、および損傷からコンポーネントを保護するために役立ちます。

ヒートシンク

ヒートシンクは、プロセッサ、一部の高性能グラフィックスカード、およびオンボードチップセットから発生した熱を放散させるために使用されます。ヒートシンクには通常、空気の流れを増加させるため、上部または側面にファンが取り付けられています。ヒートシンクは、金属の単一ブロックではなく、複数の羽根または翼で構成されます。これは、表面積の増加とより良い放熱に役立ちます。プロセッサ / グラフィックスカードとヒートシンクの間には、熱交換が円滑に行われるようにサーマルグリースが塗布されます。



サーマルグリース

サーマルジェルまたはサーマルコンパウンドとも呼ばれるサーマルグリースは、プロセッサとヒートシンクの間には熱誘導層を形成するために使用されます。サーマルグリースは空気よりも伝導性に優れているため、プロセッサとヒートシンクの間にサーマルグリースを塗布することにより、プロセッサからヒートシンクへの熱伝達が促進されます。

ビデオカード


ビデオカードはグラフィックスデータを処理し、ビデオ出力をモニターやプロジェクタなどのディスプレイデバイスに送信します。

ビデオカードには次の2つのタイプがあります。

- **内蔵** — 多くの場合、オンボードビデオカードと呼ばれ、システム基板上に統合されています。一部のコンピュータでは、プロセッサにビデオカードが内蔵されています。内蔵ビデオカードは一般にシステムメモリ（RAM）を共有し、ビデオ処理にプロセッサを利用する場合があります。

アクセラレーテッドプロセッシングユニット（APU）は、プロセッサと同じダイ上に内蔵され、より優れたデータ転送率を提供するとともに消費電力を削減します。

- **外付け** — 外付けビデオカードは、システム基板上に別途取り付けられます。外付けビデオカードは、カード上に専用メモリを搭載しており、通常内蔵ビデオカードよりも優れたパフォーマンスを提供します。これらのカードは、グラフィックス集約型のアプリケーションや高解像度のビデオゲームなどに最適です。

 **メモ**：内蔵ビデオカードも搭載されているコンピュータに外付けビデオカードを取り付けた場合、内蔵ビデオカードはデフォルトで無効になります。使用するカードの選択には BIOS セットアッププログラムを使用します。

消費電力の低い内蔵グラフィックスチップと、消費電力の高い外付けグラフィックスカードの両方を装備したコンピュータでは、スイッチャブルグラフィックスを使用することにより、負荷および要件に応じてそれらのカードを切り替えることができます。

TV チューナー

コンピュータ上でテレビを視聴するためには TV チューナーを使用することができます。TV チューナーは、デスクトップおよびノートブックコンピュータに対し、内蔵または外付けデバイスとして使用できます。

メモ：一部のコンピュータでは TV チューナーがサポートされません。

内蔵

- PCI-E
- PCI

外付け

- USB
- PC カード
- ExpressCard



TV チューナーはほとんどが独立していますが、ビデオカードに内蔵されている TV チューナーもあります。

TV チューナーの使用についての詳細は、TV チューナーのマニュアルを参照してください。

スピーカ

ノートブックおよびタブレットには、オーディオ出力用にビルトインスピーカが装備されています。デスクトップにもビルトインスピーカが装備されていますが、エラーや障害の発生を示すビープ音を鳴らすためにしか使用されません。

コンピュータまたはタブレットには外付けスピーカを接続することもできます。スピーカは、コンピュータに対する 3.5 mm オーディオコネクタ接続、USB 接続、またはワイヤレス接続をサポートする場合があります。

スピーカは通常、サポートするオーディオチャンネル数（2、2.1、5.1、7.1 など）によって分類されます。小数点の前の数字はチャンネル数を示し、小数点の後の数字はサブウーファーを示します。

メモ：5.1/7.1 チャンネルオーディオを出力するためには、お使いのサウンドカードとスピーカが 5.1/7.1 チャンネルをサポートしている必要があります。



2.1 オーディオ

2.1 は、2 台のスピーカ（左および右チャンネル）と 1 台のサブウーファーで構成されるシステムを示しています。

5.1 オーディオ

5.1 は、ほとんどのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャンネル数を示しています。5.1 オーディオシステムでは、5 つのメインオーディオチャンネル（左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、および右サラウンド）と 1 つの低音域オーディオチャンネルが使用されます。

7.1 オーディオ

7.1 は、ハイエンドのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャンネル数を示しています。7.1 オーディオシステムでは、5.1 オーディオシステムに加えて 2 台のスピーカ（左リアと右リア）が使用されます。オーディオのセットアップについての詳細は、「[オーディオのセットアップ](#)」を参照してください。

ウェブカメラ

ウェブカメラは、ビデオおよび写真の取り込みを可能にし、ビデオ通話にも使用できます。ディスプレイにウェブカメラが内蔵されていることもありますが、外付けのウェブカメラをコンピュータに接続することもできます。カメラの品質は、主として取り込み可能なピクセル数によって定義されます。

ウェブカメラを使用するには、ウェブカメラのドライバおよびソフトウェアをインストールする必要があります。一般的に、ウェブカメラをコンピュータと一緒に注文した場合には、コンピュータの受け取り時にドライバとソフトウェアがインストールされています。

ウェブカメラの使用についての詳細は、「[ウェブカメラの使用](#)」を参照してください。

ネットワーク

ネットワークを使用して、お使いのデバイスを相互に接続したり、インターネットに接続することができます。これらのデバイスには、コンピュータ、タブレット、電話、プリンタ、その他の周辺機器が含まれます。ネットワークのセットアップは、ケーブル（LAN）またはワイヤレスデバイス（WLAN）を使用することができます。ネットワークは、Ethernet、Wi-Fi、WWAN、Bluetooth などを使用してセットアップできます。

ローカルエリアネットワーク（LAN）



デバイスは Ethernet ケーブルを使用して接続され、住宅や建物など比較的小さい領域が対象となります。

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）



デバイスはワイヤレスで接続され、住宅や建物など比較的小さい領域が対象となります。WLAN のセットアップに使用されるワイヤレス接続は、通常 Wi-Fi (802.11x) です。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)

モバイルブロードバンドとしても知られているこのサービスは、通常モバイルデバイスでの使用向けに電話会社によって提供されています。このネットワークに接続するには、モバイルデバイスまたはノートブックが WWAN テクノロジーに対応している必要があります。

ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN)

デバイスは通常 Bluetooth、RF、近距離無線通信 (NFC) などを使用してワイヤレスで接続されます。一般的に、このタイプのネットワークはデバイスから数フィートの範囲内で動作します。コンピュータまたはタブレットをインターネットに接続するには、「[インターネットへの接続](#)」を参照してください。

モデム

モデムの使用により、コンピュータまたはルーターをインターネットに接続することができます。モデムには、アナログ（ダイヤルアップ）とデジタル（DSL またはケーブル）があります。DSL またはケーブルモデムは通常、インターネットサービスプロバイダによって提供されます。

- **ダイヤルアップモデム** - 電話のアナログ信号からコンピュータでの処理が可能なデジタル信号への変換、およびコンピュータのデジタル信号から電話線での伝送が可能なアナログ信号への変換を行う電子デバイスです。ダイヤルアップモデムには内蔵または外付けタイプがあります。
- **デジタルモデム** - デジタル電話線（デジタル加入者線（DSL））やサービス総合デジタル網（ISDN）などに対するデータの送受信に使用されます。

ルーター

ルーターは、コンピュータネットワーク間でデータを転送するデバイスです。

最も身近なルーターのタイプは、複数デバイス間で同時にインターネット接続を共有できるホームまたは小規模オフィスルーターです。

ルーターは、有線またはワイヤレスにすることができます。有線ルーターでは、イーサネット（RJ45）ケーブルを使用してコンピュータを接続できます。ほとんどの有線ホームルーターには 4 個のポートが搭載され、最大 4 台のコンピュータをインターネットに同時接続できます。ワイヤレスルーターでは Wi-Fi テクノロジーが使用され、電話、タブレット、コンピュータ、およびその他のデバイスをワイヤレスでネットワークに接続できます。ワイヤレスルーターは複数のデバイスに同時に接続できます。詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。

ネットワークインタフェースコントローラ（NIC）

ネットワークアダプタやローカルエリアネットワーク（LAN）アダプタとも呼ばれるネットワークインタフェースコントローラ（NIC）は、イーサネットケーブルを使用してネットワークに接続します。NIC は、内蔵（システム基板に内蔵）または外付け（拡張カード）にすることができます。ほとんどの新しいコンピュータには、内蔵ネットワークアダプタが搭載されています。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) アダプタ

WLAN アダプタでは Wi-Fi テクノロジーが使用され、お使いのデバイスのワイヤレスルーターへの接続を可能にします。お使いのコンピュータには内蔵（拡張カードまたはシステム基板内蔵）または外付けの WLAN アダプタが搭載されている場合があります。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WLAN) アダプタ

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) コントローラは、携帯電話基地局のテクノロジーを利用してワイヤレス接続を可能にします。Bluetooth デバイスには、電話、ヘッドセット、キーボード、マウス、プリンタなどが含まれます。WWAN 接続には、SIM カードおよびサービス契約が必要になることがあります。

Bluetooth


Bluetooth では、他の Bluetooth 対応デバイスをコンピュータまたはタブレットに近距離で接続できます。Bluetooth デバイスには、電話、ヘッドセット、キーボード、マウス、プリンタなどが含まれます。Bluetooth アダプタは、内蔵（拡張カードまたはシステム基板内蔵）または外付けにすることができます。

エンタープライズルーターなどのより高性能なルーターは、データをインターネットバックボーンの光ファイバ回線に沿って高速に転送する強力なコアルーターに大企業または ISP ネットワークを接続します。

近距離無線通信

近距離無線通信 (NFC) では、デバイスを互いに接触させるか、相手に近づけることにより、2 台のデバイス間でデータを交換できます。NFC 対応デバイスを使用することで、NFC タグの読み取り、決済、対応デバイス間でのファイル共有などを行うことができます。

NFC 対応の Dell ノートブックおよびタブレットでは、ワイヤレスがオンになるとデフォルトで NFC が有効になります。


 **メモ**：NFC 対応デバイスをコンピュータまたはタブレットに接続する方法については、お使いのデバイスのマニュアルを参照してください。


 **メモ**：ファイル共有は、Windows オペレーティングシステムを使用しているデバイス間でのみ機能します。

コンピュータの使用

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、電源アダプタをコンピュータまたはタブレットに接続します。バッテリーは、コンピュータまたはタブレットの使用時、あるいは電源がオフになっている間に充電されます。過充電は、バッテリーの内蔵回路によって防止されます。

 **メモ**：高環境温度のためにバッテリーが熱くなりすぎた場合は、電源アダプタを接続しても充電されないことがあります。バッテリーの温度が下がるのを待ってから、再充電してください。

 **メモ**：コンピュータのバッテリー寿命を向上させる方法については、「[駆動時間の改善](#)」を参照してください。

キーボードの使用

物理的なキーボードのキーを押すか、オンスクリーンキーボードの文字をタップして、テキストの入力、およびその他機能を実行します。

キーボードのショートカット

ノートブックのキー、および外付けキーボードには、<Fn>などの特殊なキーと一緒に押すと複数の機能を実行できるものがあります。一部のコンピュータでは、BIOS セットアッププログラムまたはキーボードショートカットを使用して、キーのデフォルト動作を選択できます。

<Ctrl><Shift><Esc>

タスクマネージャ ウィンドウを開きます。

<Fn><F8>

ディスプレイデバイスを切り替えます（メインディスプレイのみ、複製、両方のディスプレイに拡張、セカンダリディスプレイのみ）。

目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。

<Fn> と上矢印キー

内蔵ディスプレイの輝度を上げます。

<Fn> と下矢印キー

内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けディスプレイには適用されません）。

<Fn><Esc>

省電力モードを有効にします。このキーボードショートカットの設定は、**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使用して、異なる省電力モードをアクティブ化するように変更することができます。

<F2>	選択されたアイテムの名前を変更します。
<F3>	ファイルまたはフォルダを検索します。
<F4>	Windows Explorer にアドレスバーのドロップダウンを表示します。
<F5>	アクティブなウィンドウを更新します。
<F6>	ウィンドウまたはデスクトップの画面要素を順序を追って順に表示します。
<F10>	アクティブなプログラムでメニューバーをアクティブ化します。
<Ctrl><c>	選択されたアイテムをコピーします。
<Ctrl><x>	選択されたアイテムを切り取ります。
<Ctrl><v>	選択されたアイテムを貼り付けます。
<Ctrl><z>	操作を取り消します。
<Ctrl><a>	文書またはウィンドウ内のすべてのアイテムを選択します。
<Ctrl><F4>	複数の文書を同時に開くことができるプログラムで、アクティブなウィンドウを閉じます。
<Ctrl><Alt><Tab>	矢印キーを使用して開いているアイテムを切り替えます。
<Alt><Tab>	開いているアプリケーションを切り替えます。
<Alt><Esc>	開かれた順序を追ってアイテムを順に表示します。
<Delete>	選択されたアイテムを削除し、ごみ箱に移動します。
<Shift><Delete>	選択されたアイテムをごみ箱に移動せずに削除します。 注意： この方法で削除されたファイルは、ごみ箱から元に戻すことができません。
<Ctrl> と右矢印キー	カーソルを次の語句の先頭へ移動します。
<Ctrl> と左矢印キー	カーソルを前の語句の先頭へ移動します。
<Ctrl> と下矢印キー	カーソルを次の段落の先頭へ移動します。
<Ctrl> と上矢印キー	カーソルを前の段落の先頭へ移動します。
<Ctrl><Shift> と矢印キー	まとまったテキストを選択します。
<Shift> と矢印キー	ウィンドウまたはデスクトップで複数のアイテムを選択します。または、文書内のテキストを選択します。

Windows キーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows キーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows キーと <m> の組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えキーとして機能します。
Windows キーと <e>	Windows Explorer を開きます。
Windows キーと <r>	ファイル名を指定して実行 ダイアログボックスを開きます。
Windows キーと <f>	検索結果 ダイアログボックスを開きます。
Windows キーと <Ctrl><f>	検索結果 - コンピュータ ダイアログボックスを開きます (コンピュータがネットワークに接続されている場合)。
Windows キーと <Pause>	システムのプロパティ ダイアログボックスを開きます。

キーボードショートカット — Windows 8.1/Windows RT

この表は、Windows 8.1 および Windows RT 固有のキーボードショートカットの一部を示しています。これらは旧バージョンの Windows ですでに使用されていたショートカットに新しく追加されたものです。

Windows キーを押して入力を開始	お使いのコンピュータを検索します。
<Ctrl><+>	スタート画面にピン留めされているアプリなど、画面上の多数のアイテムを拡大表示します。
<Ctrl><->	スタート画面にピン留めされているアプリなど、画面上の多数のアイテムを縮小表示します。
Windows キーと <c>	チャームバーを開きます。
Windows キーと <f>	検索チャームを開き、コンピュータ上のファイルを検索します。
Windows キーと <h>	検索チャームを開きます。
Windows キーと <i>	設定チャームを開きます。
Windows キーと <j>	メインアプリとスナップアプリを切り替えます。
Windows キーと <k>	デバイスチャームを開きます。
Windows キーと <o>	画面の向き（横方向または縦方向）を固定します。
Windows キーと <q>	検索チャームを開いて、コンピュータ上のアプリを検索します。
Windows キーと <w>	検索チャームを開いて、コンピュータ設定を検索します。
Windows キーと <z>	アプリで使用できるオプションを表示します。
Windows キーとスペースバー	入力言語とキーボードレイアウトを切り替えます。
Windows キー、<Ctrl>、スペースバー	以前選択した入力言語とキーボードレイアウトに切り替えます。
Windows キーと <Tab>	開いているアプリ（デスクトップアプリを除く）を順序を追って順に表示します。
Windows キー、<Ctrl>、<Tab>	開いているアプリ（デスクトップアプリを除く）を順序を追って表示しながらスナップします。
Windows キー、<Shift>、<Tab>	開いているアプリ（デスクトップアプリを除く）を逆の順序で順表示します。
Windows キー、<Shift>、<. >	アプリケーションを左側にスナップします。
Windows キーと <. >	アプリケーションを右側にスナップします。

 **メモ**：お使いのコンピュータで使用できる特殊なショートカットキーについては、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）または dell.com/support を参照してください。

キーボードのカスタマイズ

キーボードは次のようにカスタマイズすることができます。


- キーを押し続けた時にキーボードの文字が繰り返されるまでの時間を変更
- キーボードの文字が繰り返される速度を変更
- カーソルの点滅率を変更
- 入力言語のキーシーケンスを変更

キーボードをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

Windows 8.1

1. **スタート** 画面で任意の場所を右クリックします。
2. 画面の右下隅に **すべてのアプリ** アイコンが表示されます。
3. **Windows システム** で **コントロールパネル** をクリックします。
4. **コントロールパネル** が **カテゴリ** 別に表示されている場合は、**表示** ドロップダウンメニューをクリックして **小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
5. **キーボード** をクリックします。
6. 変更したいキーボードの設定を調整して、**OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

Windows 7


1. **スタート**  **コントロールパネル** をクリックします。
2. **コントロールパネル** が **カテゴリ** 別に表示されている場合は、**表示** ドロップダウンメニューをクリックして **小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
3. **キーボード** をクリックします。
4. 変更したいキーボードの設定を調整して、**OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

キーボード入力言語の変更

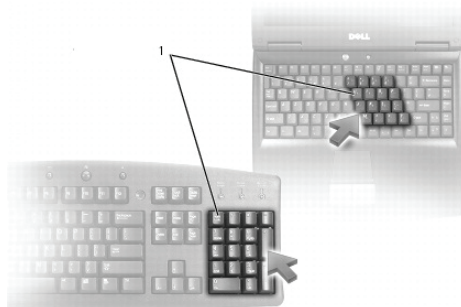
Windows 8.1

1. **スタート** 画面で任意の場所を右クリックします。
2. 画面の右下隅に **すべてのアプリ** アイコンが表示されます。
3. **Windows システム** で **コントロールパネル** をクリックします。
4. **時計、言語、および地域** をクリックします。
5. **言語** で **入力方式の変更** をクリックします。
6. **入力方式** で **入力方式の追加** をクリックします。
7. 追加したい言語をクリックし、**追加** をクリックします。

Windows 7


1. スタート  → **コントロールパネル** をクリックします。
2. **コントロールパネル** が **カテゴリ** 別に表示されている場合は、**表示** ドロップダウンメニューをクリックして **小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
3. **地域と言語** をクリックします。
4. **キーボードと言語** で **キーボードの変更...** をクリックします。
5. **全般** で **追加...** をクリックします。
6. 追加したい言語をクリックし、**OK** をクリックします。


ノートブックのテンキーパッドの使用



1 テンキーパッド

お使いのノートブックのキーボードには、テンキーパッドが内蔵されている場合があります。このキーパッドは、拡張キーボードのキーパッドに対応しています。

- 数字または記号を入力するには、<Fn> キーを押しながら希望するキーを押します。
- テンキーパッドを有効にするには、<Num lock> を押します。  ライトはキーパッドがアクティブであることを示します。
- テンキーパッドを無効にするには、もう一度 <Num lock> を押します。

 **メモ**：一部のノートブックには、専用テンキーパッドが装備されています。


タッチパッドの使用


カーソルの移動や画面上のオブジェクトの選択には、タッチパッドを使用します。

- カーソルを動かすには、タッチパッドの上で指を静かにスライドさせます。
- オブジェクトを左クリック、または選択するには、左のタッチパッドボタンを押すか、タッチパッドを1回タップします。
- オブジェクトを右クリックするには、右のタッチパッドボタンを1回タップします。

- オブジェクトをダブルクリックするには、左のタッチパッドボタンを2回押すか、タッチパッドを2回タップします。
- オブジェクトを選択して移動（ドラッグ）させるには、オブジェクトの上にカーソルを置き、タッチパッドをすばやく2回タップしてから指を離さずに画面で指をスライドさせて、選択したオブジェクトを移動させます。

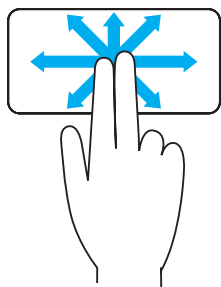
タッチパッドジェスチャ

 **メモ**：一部のタッチパッドジェスチャは、お使いのコンピュータでサポートされない場合があります。

 **メモ**：タッチパッドジェスチャの設定は、タスクトレイでタッチパッドのアイコンをダブルクリックすることによって変更できます。

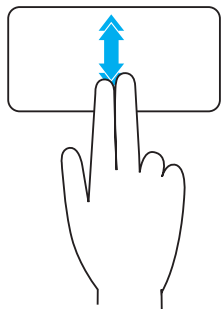
お使いのコンピュータでは、**スクロール**、**ズーム**、**回転**、**フリック**、および **クイック起動** ジェスチャがサポートされている場合があります。

スクロール



パン オブジェクト全体が見えない場合に、選択されたオブジェクトに焦点を当てることができます。

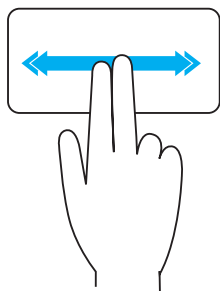
2本の指を希望の方向に動かして選択されたオブジェクトにスクロールしてパンします。



自動縦スクロール アクティブなウィンドウを上または下方向にスクロールできます。

自動縦スクロールは、2本の指をすばやく上または下に動かして開始します。

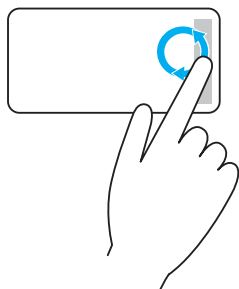
自動スクロールはタッチパッドをタップすると停止します。



自動横スクロール – アクティブなウィンドウを左または右方向にスクロールできます。

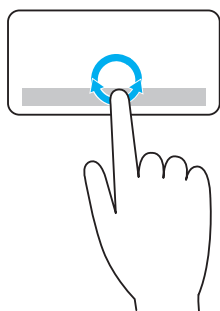
自動横スクロールは、2本の指をすばやく左または右に動かして開始します。

自動スクロールはタッチパッドをタップすると停止します。



円形上 / 下スクロール – 上 / 下方向にスクロールできます。

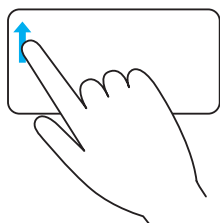
タッチパッドの右端の縦スクロールゾーンで、指を時計回りに動かして上方向、反時計回りに動かして下方向にスクロールします。



円形左 / 右スクロール – 左 / 右方向にスクロールできます。

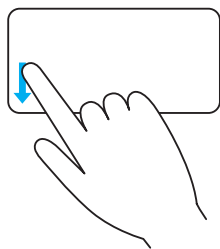
タッチパッドの下部の横スクロールゾーンで、指を時計回りに動かして右、反時計回りに動かして左にスクロールします。

ズーム

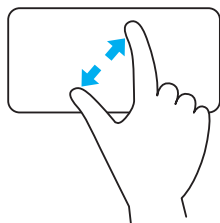


ワンフィンガーズーム – ズームゾーンで1本の指を動かすことによって表示を拡大または縮小できます。

ズームゾーンで指を上方向に動かして拡大します。

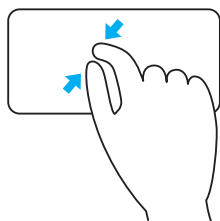


ズームゾーンで指を下方向に動かして縮小します。



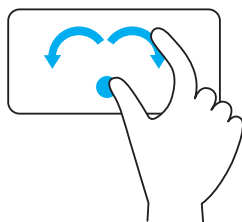
トゥーフインガーズーム – 2本の指を動かすことによって表示を拡大または縮小できます。

タッチパッドに2本の指を置き、指と指を離して拡大します。



タッチパッドに2本の指を置き、指同士を近づけて縮小します。

回転

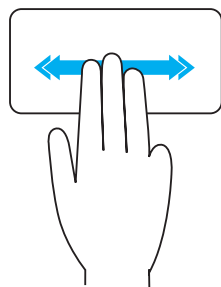


ツイスト – 2本の指を使ってアクティブなコンテンツを90度単位で回転させることができます。

親指を軸にして、人差し指を右または左に弧を描くように動かすことによって、選択したアイテムを時計回りまたは反時計回りに90度回転させることができます。

フリック

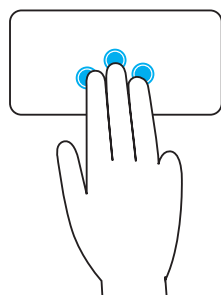
前後のコンテンツに素早く移動させることができます。



3本の指を左または右方向にすばやく動かして、前後のコンテンツに素早く移動します。

クイック起動

お気に入りのアプリケーションを開くことができます。



タッチパッドを3本の指でタップして、事前設定されたアプリケーションを起動します。

メモ：起動するアプリケーションを選択するには、タッチパッド設定ツールを使用します。

タッチスクリーンの使用

メモ：タッチスクリーンをほこりっぽい場所、高温または湿度の高い場所で使用することは避けてください。

メモ：突然の温度変化は、画面の内側表面が結露する原因となる場合があります。これは通常の使用に影響するものではなく、少なくとも48時間コンピュータの電源を入れたままにしておくで消滅します。

お使いのコンピュータまたはタブレットにタッチスクリーンディスプレイが搭載されている場合は、マウスやキーボードを使う代わりに、画面にタッチしてアイテムを操作できます。


タッチスクリーンを使用して実行できる基本的なタスクには、ファイル、フォルダ、およびアプリを開く操作や、ズームイン、ズームアウト、スクロール、イメージの回転などがあります。

ファイル、フォルダ、アプリケーションを開く、スクロールバーを使用してスクロールする、ウィンドウのボタンを使用してウィンドウを閉じたり最小化するなどの、通常はマウスを使って実行するタスクを実行することができます。

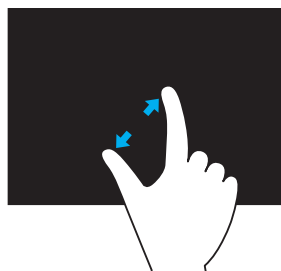
タッチスクリーンを使ってオンスクリーンキーボードを使用することもできます。

タッチスクリーンジェスチャ

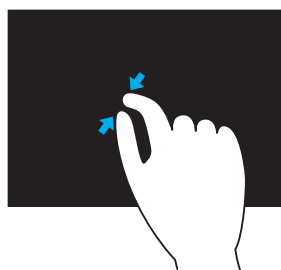
タッチスクリーンジェスチャでは、ディスプレイ上における指のスライドまたはフリックによるズーム、スクロール、回転などのタスクの実行が可能になることから、タッチスクリーンの使い勝手が向上します。

 **メモ**：一部のジェスチャはアプリケーション固有であるため、すべてのアプリケーションでは機能しない場合があります。

ズーム

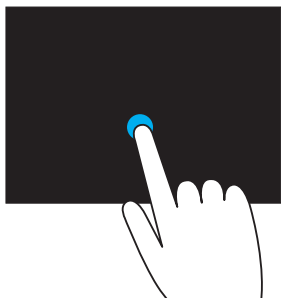


タッチスクリーンに2本の指を置き、指と指を離して拡大します。



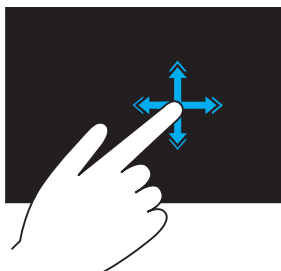
タッチスクリーンに2本の指を置き、指同士を近づけて縮小します。

停滞



タッチスクリーン上でアイテムを押し続けると、コンテキストメニューが開きます。

フリック



指を好きな方向に素早く動かして、本のページのようにアクティブウィンドウの内容をめくります。

フリックは、画像やプレイリストの曲などのコンテンツを検索するときには、縦向きでも使用できます。

回転

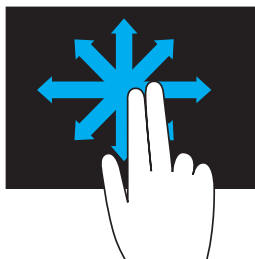


時計回りの回転 — 指または親指を軸にして、それ以外の指を右方向に弧を描くように動かします。

反時計回りの回転 — 指または親指を軸にして、それ以外の指を左方向に弧を描くように動かします。

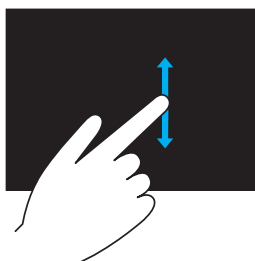
両方の指を円を描くように動かすことで、アクティブなコンテンツを回転させることもできます。

スクロール



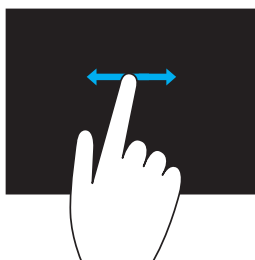
パン – オブジェクト全体が見えない場合に、選択されたオブジェクトに焦点を当てます。

2本の指を好きな方向に動かして、選択されたオブジェクトにパンします。



縦スクロール – アクティブなウィンドウを上または下方向にスクロールします。

縦スクロールは、指を上または下方向に動かして開始します。



横スクロール – アクティブなウィンドウを左または右方向にスクロールします。




横スクロールは、指を左または右方向に動かして開始します。

Bluetooth の使用

マウス、キーボード、ヘッドセット、電話、テレビなどの Bluetooth デバイスを接続（ペアリング）できます。デバイスとコンピュータのペアリングについては、デバイスのマニュアルを参照してください。

 **メモ**：お使いのコンピュータに Bluetooth ドライバがインストールされていることを確認してください。

Bluetooth デバイスとコンピュータのペアリング


1. ペアリングするコンピュータまたはタブレット、およびデバイスで Bluetooth を有効にします。
Dell ノートブックでは、ワイヤレスをオンにして Bluetooth を有効にします。
お使いのデバイスで Bluetooth を有効にする方法については、デバイスのマニュアルを参照してください。
2. タスクバーのタスクトレイで Bluetooth アイコンを右クリックし、**デバイスの追加** をクリックします。
 **メモ**：Bluetooth アイコンが見つからない場合は、タスクトレイの横にある矢印をクリックしてください。
3. **デバイスの追加** ウィンドウでデバイスを選択し、**次へ** をクリックします。
 **メモ**：お使いのデバイスがリストされていない場合は、そのデバイスが検出可能であることを確認してください。
4. 画面の指示に従って、ペアリング処理を完了します。
 **メモ**：コンピュータおよびデバイスにはパスコードが表示される場合があります。
5. ペアリングが完了すると、デバイスのペアリングを確認するメッセージが表示されます。


ウェブカメラの使用

コンピュータまたはディスプレイにウェブカメラが内蔵されている場合は、工場出荷時にドライバがインストールおよび設定済みです。ユーザーがビデオチャットまたはビデオキャプチャアプリケーションを起動すると、ウェブカムが自動的にアクティブ化されます。


Dell Webcam Central (Windows 7 のみ) を使用して、ウェブカメラで静止イメージおよびビデオをキャプチャすることもできます。


静止イメージのキャプチャ

1. Dell Webcam Central を起動します。
2. **Snap Photos** (スナップ写真) タブをクリックします。
3. カメラアイコン  をクリックして静止イメージをキャプチャします。

 **メモ**：イメージサイズ、セルフタイマー、バーストキャプチャ、イメージフォーマットなどのオプションを設定するには、カメラアイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。


ビデオの録画

1. Dell Webcam Central を起動します。
2. **Record Videos** (ビデオの録画) タブをクリックします。
3. 録画アイコン  をクリックしてビデオの録画を開始します。
4. ビデオの録画が完了したら、録画アイコンをクリックして録画を停止します。

 **メモ**：ビデオサイズ、セルフタイマー、コマ撮り録画、ビデオ品質などのオプションを設定するには、録画アイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。

カメラとマイクの選択

お使いのコンピュータに複数のウェブカメラまたはマイク (内蔵または外付け) がある場合は、Dell Webcam Central で使用するウェブカメラまたはマイクを選択することができます。

1. Dell Webcam Central を起動します。
2. ウィンドウの左下隅で、カメラアイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
3. 使用したいカメラをクリックします。
4. **Record Videos** (ビデオの録画) タブをクリックします。
5. プレビューエリアの下にあるマイクアイコン  横のドロップダウン矢印をクリックします。
6. 使用したいマイクをクリックします。

ポートおよびコネクタ

オーディオ

オーディオコネクタは、スピーカ、ヘッドフォン、マイク、サウンドシステム、アンプ、またはテレビのオーディオ出力への接続を可能にします。

 **メモ**：お使いのコンピュータは、すべてのオーディオポートをサポートしない場合があります。お使いのコンピュータで使用できるポートについての情報は、コンピュータに同梱の『Quick Start Guide』（クイックスタートガイド）、または [dell.com/support](https://www.dell.com/support) で「Specifications」（仕様）を参照してください。

オーディオポートのタイプ



ヘッドフォンポート – ヘッドフォン、パワードスピーカ、またはサウンドシステムを接続します。



マイクポート – 声またはサウンド入力用の外付けマイクを接続します。



ライン入力ポート – カセットプレーヤ、CD プレーヤ、VCR などの録音 / 再生デバイスを接続します。



ライン出力ポート – ヘッドフォンまたはアンプ内蔵スピーカを接続します。



リアサラウンド出力ポート – マルチチャンネル対応スピーカを接続します。



センター / LFE サラウンド出力 – 単一のサブウーハーを接続します。

メモ：デジタルサラウンドサウンドオーディオスキームにある低周波効果（LFE）オーディオチャンネルは、80 Hz 以下の周波数情報のみを伝達します。LFE チャンネルはサブウーハーを駆動し、超低音域を拡張します。サブウーハーを使用しないシステムの場合は、サラウンドサウンドのセットアップ時に LFE の情報をメインスピーカに切り替えることができます。



サイドサラウンドサウンドポート – 左 / 右のスピーカを接続します。



RCA S/PDIF ポート – アナログオーディオの変換を必要とすることなくデジタルオーディオを送信します。



デジタル S/PDIF ポート – アナログオーディオの変換を必要とすることなく、光信号を使用してデジタルオーディオを送信します。

USB

Universal Serial Bus (USB) では、周辺機器をコンピュータまたはタブレットに接続することができます。これらの周辺機器には、マウス、キーボード、プリンタ、外付けドライブ、カメラ、電話などが含まれます。

USB ポートは、コンピュータとデバイス間でのデータの転送、および対応デバイスの充電にも使用することができます。詳細については、お使いのデバイスのマニュアルを参照してください。

一部のコンピュータには、内蔵 PowerShare 機能を持つ USB ポートも装備されています。この機能を使用すると、コンピュータの電源が切れているときでも USB デバイスを充電できます。

USB ではプラグアンドプレイとホットスワップもサポートされます。

プラグアンドプレイ – コンピュータがデバイスを自動的に識別して設定することを可能にします。

ホットスワップ – コンピュータを再起動することなく、USB デバイスの取り外しと接続ができます。

USB ポート

標準 USB – 標準 USB ポートは、ほとんどのノートブックおよびデスクトップに装備されています。ほとんどの USB デバイスはこのポートを使用してコンピュータに接続されます。

ミニ USB – ミニ USB ポートは、カメラ、外付けストレージドライブ、タブレットなど小型の電子デバイスに使用されます。

マイクロ USB – マイクロ USB ポートはミニ USB ポートよりも小さいポートで、電話、タブレット、ワイヤレスヘッドフォン、およびその他小型電子デバイスに使用されます。

Powered USB – Powered USB は、標準の USB よりも複雑なコネクタを使用します。基本的に、この USB には 1 つのケーブルに標準 USB プラグ用、および電源用の 2 つのコネクタがあります。これにより、別途電源装置を使用することなく、高電力デバイスを接続することが可能になります。バーコードリーダーやレシートプリンタなどの小売業向け機器に使用されています。


USB 標準


USB 3.0 – SuperSpeed USB とも呼ばれるこのポートは、最大 4.8 Gbps のデータ転送速度をサポートし、旧式の USB 標準との下位互換性があります。


USB 2.0 – Hi-Speed USB と呼ばれ、マルチメディアやストレージアプリケーション用に追加の帯域幅を提供します。USB 2.0 は最大 480 Mbps のデータ転送速度をサポートしています。

USB 1.x – 最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートするレガシー USB 標準です。

USB PowerShare – USB PowerShare 機能を使用すると、コンピュータの電源が切れているとき、またはスリープ状態のときに USB デバイスを充電することができます。⚡ アイコンは、その USB ポートが PowerShare 機能をサポートしていることを示しています。

 **メモ**：一部の USB デバイスは、コンピュータの電源が切れているとき、またはスリープ状態のときに充電できない場合があります。その場合は、コンピュータの電源を入れてデバイスを充電してください。

 **メモ**：USB デバイスの充電中にコンピュータの電源を切ると、充電が中止されることがあります。充電を続けるには、デバイスを一旦取り外してから再接続してください。

 **メモ**：ノートブックでは、バッテリー充電が 10% に達すると PowerShare 機能によるデバイスの充電が停止します。この制限は、BIOS セットアッププログラムを使用して設定できます。

デバッグポート – デバッグポートは、トラブルシューティング目的、および USB 光学ドライブやフラッシュドライブを使用してオペレーティングシステムを再インストールするために、ユーザーが USB 3.0 ポートを一時的に USB 2.0 モードで動作させることを可能にします。

eSATA

eSATA は、ハードドライブおよび光学ドライブなどの外付けストレージデバイスのコンピュータへの接続を可能にします。このポートは内蔵 SATA ポートと同じ帯域幅を提供します。

コンピュータにはスタンドアロン eSATA ポート、または eSATA/USB コンボポートが装備されている場合があります。

ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA)

ビジュアルグラフィックスアレイ (VGA) を使用して、モニターやプロジェクタなどに接続することができます。

VGA to HDMI または VGA to DVI アダプタを使用することによって、VGA ポート経由で HDMI または DVI ポートに接続できます。

デジタルビジュアルインタフェース (DVI)

デジタルビジュアルインタフェース (DVI) では、コンピュータをフラットパネルモニターやプロジェクタなどのディスプレイに接続することができます。

DVI 接続には 3 つのタイプがあります。

- **DVI-D (DVI-デジタル)** – DVI-D は、ビデオカードとデジタルディスプレイ間でデジタルビデオ信号を転送します。高速かつ高品質なビデオ出力を提供します。
- **DVI-A (DVI-アナログ)** – DVI-A は、アナログビデオ信号を CRT モニターやアナログ LCD モニターなどのディスプレイに送信します。
- **DVI-I (DVI-統合)** – DVI-I は、デジタルまたはアナログ信号を送信できる統合コネクタです。デジタルとアナログの両方の接続に使用できることから、多目的に使用できるポートです。

DisplayPort

DisplayPort は、コンピュータと表示デバイス (モニターやプロジェクタなど) 間のデジタル接続を提供し、ビデオ信号とオーディオ信号の両方をサポートします。

DisplayPort は、コンピュータディスプレイでの使用専用設計されたものです。

Mini-DisplayPort

Mini-DisplayPort は DisplayPort の小型版です。

 **メモ** : DisplayPort と Mini-DisplayPort には互換性がありますが、ポートとコネクタのサイズが異なります。ポートのサイズが違う場合はコンバータを使用してください。

DisplayPort の利点

- 高い解像度とリフレッシュレートをサポート
- 3D 伝送をサポート
- 複数表示デバイスの同時使用をサポート
- HDCP をサポート
- DVI、HDMI、VGA など旧式の接続標準を使用したディスプレイへの接続を可能にするプラグアンドプレイアダプタをサポート
- 信号ブースターを必要とすることなく、DisplayPort ケーブルを最大 15 メートル (49.21 フィート) に延長可能

HDMI

高品位マルチメディアインタフェース（HDMI）は、コンピュータ、表示デバイス、およびその他のマルチメディアデバイス間のデジタル接続を提供し、ビデオ信号とアナログ信号の両方をサポートします。

HDMI ポートはコンピュータ、テレビ、セットトップボックス、DVD およびブルーレイプレーヤ、ゲームコンソールなどに一般的に装備されています。

HDMI の利点

- 高い解像度とリフレッシュレートをサポート
- 3D 伝送をサポート
- HDCP をサポート
- ほとんどのコンピュータおよび家庭用マルチメディアデバイスで一般的に使用可能
- オーディオのみ、ビデオのみ、またはオーディオとビデオの接続のセットアップに使用可能
- LCD、プラズマディスプレイ、プロジェクタなどの固定ピクセルディスプレイとの互換性

ミニ HDMI

ミニ高品位マルチメディアインタフェース（HDMI）は、コンピュータと携帯デバイス（スマートフォン、ノートブックなど）間のデジタル接続を提供します

マイクロ HDMI

マイクロ高品位マルチメディアインタフェース（HDMI）は、コンピュータと携帯デバイス（スマートフォン、ノートブックなど）間のデジタル接続を提供します。このコネクタは、多くのスマートフォンにあるマイクロ USB コネクタと似ています。

S/PDIF

S/PDIF は、オーディオをデジタルフォーマットで転送するための標準規格です。

S/PDIF はサウンドカード、スピーカ、ホームシアターシステム、テレビなどのオーディオデバイスに使用できます。5.1 オーディオに対するサポートを提供します。

S/PDIF 接続には 2 つのタイプがあります。

- 光 — 光ファイバと TOSLINK コネクタを使用します。
- 同軸 — 同軸ケーブルと RCA コネクタを使用します。

ソフトウェアとアプリケーション

Computrace

Computrace では、コンピュータの使用者が変わったり、コンピュータを組織内で移動したりする場合に、それらのコンピュータを追跡することが可能になり、盗難防止、および紛失した、または盗難に遭ったコンピュータの回収に役立ちます。



インターネットにアクセスできる Computrace 対応のコンピュータは、システム情報、位置、およびユーザー ID を報告するため、定期的に Computrace サーバーと通信します。

Computrace は次のパッケージと機能を提供します。

Complete	Absolute Track	Plus	Lo/Jack for Laptops
資産のインベントリ	コンピュータハードウェアの追跡	盗難に遭ったコンピュータの位置特定	家庭およびホームオフィス向け
セキュアな資産追跡	リース情報の一元管理	リースの追跡	盗難防止
盗難に遭ったコンピュータの追跡	ソフトウェアインベントリ	損失の調査	非表示のソフトウェアを使用した位置特定
盗難防止	ライセンス順守	盗難防止	30 日以内のリカバリ
リモートでのデータ削除			

 **メモ**：一部のコンピュータでは Computrace がサポートされない場合があります。

Computrace の有効化

1. コンピュータの電源を入れます（または起動します）。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押して BIOS セットアッププログラムを起動します。
 **メモ**：キーを押すのが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合は、Windows デスクトップが表示されてからコンピュータをシャットダウンし、再試行します。
3. **Security**（セキュリティ）タブを選択し、**Computrace(R)** を選択します。
4. **Activate**（アクティブ化）を選択して Computrace を有効にします。
 **メモ**：セットアップユーティリティで Computrace オプションを有効または無効にすると、その後この設定を変更することはできなくなります。

Computrace のサポート

デルは Absolute Software を通じて Computrace に関するサポートを提供します。インストール、設定、使用方法、トラブルシューティングについては Absolute Software にお問い合わせいただけます。

Absolute Software へのお問い合わせは、**absolute.com** で Absolute Software Web サイトを参照、または **techsupport@absolute.com** に電子メールを送信してください。

My Dell Downloads

My Dell Downloads は、お使いのコンピュータに事前インストールされているものの、対応するメディアを受け取っていないソフトウェアのダウンロードおよびインストールすることができるソフトウェアリポジトリです。

 **メモ**：My Dell Downloads は一部の地域でご利用いただけない場合があります。

 **メモ**：My Dell Downloads のご利用には登録が必要です。

My Dell Downloads では次の操作が可能です。

- 工場出荷時にコンピュータに同梱されていたソフトウェアを表示する。
- 権利を所有するソフトウェアをダウンロードおよびインストールする。
- My Dell Downloads のアカウントパスワードを変更する。

My Dell Downloads に登録し、サイトを利用するには次の手順を実行してください。


1. **smartsource.dell.com/web** にアクセスします。
2. 画面の指示に従って、お使いのコンピュータを登録します。
3. ソフトウェアを再インストールするか、将来使用できるようにバックアップメディアを作成します。

My Dell

My Dell は、システムツールおよび診断用のワンストップコントロールパネルです。My Dell を使用して、お使いのコンピュータのサービスタグ、エクスプレスサービスコード、システム情報、保証ステータスなどを検索できます。My Dell は、オンラインツール、デルテクニカルサポートリンク、デルカスタマーサポートチャネル、デバイスマネージャ、ネットワーク接続、システムアラート、パフォーマンス改善のヒント、およびその他 Dell ツールと診断サービスへのリンクなどへのアクセスを提供します。

My Dell のダウンロードまたはアップグレード

最新バージョンの My Dell をダウンロードまたはアップグレードするには、dell.com/support にアクセスします。

 **メモ**：ソフトウェアは、My Dell のインストール中プロンプトが表示されたときにダウンロードすることが推奨されます。

My Dell へのアクセス：

Windows 8.1 – スタート画面で My Dell のアイコンをタップまたはクリックします。

Windows 7 – スタート  → **すべてのプログラム** → **Dell** → **My Dell** → **My Dell** をクリックします。

PC CheckUp

PC Checkup を使用して、ハードドライブの使用状況の確認、ハードウェアの診断、コンピュータに対して行われた変更の追跡を実行します。

- **Drive Space Manager (ドライブ容量マネージャ)** – 各タイプのファイルによって使用されている容量の視覚的な表示を使用して、ハードドライブを管理します。
- **Performance and Configuration History (パフォーマンスと設定履歴)** – システムイベントとシステムの変更を経時的に監視します。このユーティリティは、ハードウェアスキャン、テスト、システム変更、重大なイベント、システムの復元ポイントのすべてを表示します。
 - **Detailed System Information (詳細システム情報)** – ハードウェアとオペレーティングシステムの設定に関する詳細な情報が表示されます。サービス契約のコピー、保証情報、保証の更新オプションにアクセスできます。
 - **Get Help (サポート情報)** – デルテクニカルサポートオプション、カスタマーサポート、ツアーとトレーニング、オンラインツール、サービスマニュアル、保証情報、FAQ などが表示されます。

- **Backup and Recovery (バックアップとリカバリ)** – システムリカバリツールにアクセスし、次の操作を実行できます。
 - 将来コンピュータを復元するため、お使いのコンピュータでデル工場出荷時イメージファイルを作成。
 - バックアップおよびリカバリメディアを作成。
- **System Performance Improvement Offers (システムパフォーマンスの改善提案)** – システムパフォーマンスの改善に役立つソフトウェアおよびハードウェアソリューションを入手できます。

Solution Station

Solution Station は、コンピュータの設定とメンテナンス、ネットワークのセットアップとサポート、ホームエンターテインメントのインストールなどを提供するプレミアムサポートサービスのためのワンストップショップです。

ユーザーは、それぞれのニーズに合わせて **電話サポート、オンサイトサポート（ご自宅でのサポート）、オンラインサービス** サポートカテゴリのいずれかを選択できます。

このサービスには、コンピュータを最適化および高速化するための無料 PC 正常性チェック、一般的なエラーやトラブルシューティングに関するサポート、ウイルスおよびスパイウェアの除去、ワイヤレスネットワークのセットアップなどが含まれます。最も一般的な問題に関する記事や FAQ、および一般的なタスクの実行手順を検索することもできます。

各サポートカテゴリでは柔軟な料金設定をご提供しており、お客様にはさまざまな度合いで問題解決に関与いただけます。

Solution Station 提供のサービス

タイプ	提供サービス
保証および継続的なケア	保証またはサービス窓口の期間延長 Dell Tech Concierge
インストールとセットアップ	コンピュータのセットアップ ワイヤレスネットワークのセットアップ ソフトウェアのインストール Windows オペレーティングシステムのインストール 内蔵ハードウェアのアップグレード テレビおよびホームシアターの取り付け アンチウイルスソフトウェアのインストール インターネットおよび電子メールのセットアップ コンピュータアクセサリのセットアップ インターネットペアレンタルコントロールのセットアップ ファイル転送およびデータバックアップ
トラブルシューティングと修理	コンピュータの高速化 ウイルスとスパイウェアの除去 データリカバリ コンピュータエラーとトラブルシューティング ネットワークエラーとトラブルシューティング

Quickset


Quickset は、お使いの Dell コンピュータに拡張機能を提供するソフトウェアアプリケーションです。通常なら複数の手順を必要とする様々な機能への容易なアクセスを提供します。Dell Quickset を使用して、次のような機能にアクセスできます。

- ワイヤレスショートカットキーの設定
- バッテリー充電の無効化または有効化
- Fn キー動作の変更

 **メモ：**一部のコンピュータでは QuickSet がサポートされない場合があります。


Quickset のインストール

新しい Dell コンピュータには Quickset が事前にインストールされています。Quickset を再インストールする必要がある場合は、デルサポートサイト [dell.com/support](https://www.dell.com/support) からダウンロードしてください。

 **メモ**：PC Restore または同種のアプリケーションを使用してコンピュータを復元すると、Quickset も復元されます。

NVIDIA 3D アプリケーション

お使いのコンピュータにインストールされている NVIDIA 3DTV Play アプリケーションでは、3D ゲームの利用、Blu-ray 3D ビデオの視聴、3D 写真の閲覧が可能です。このアプリケーションは、NVIDIA 3D Vision と同じゲームをサポートしています。対応 3D ゲームのリストについては、[nvidia.com](https://www.nvidia.com) を参照してください。

 **メモ**：このアプリケーションについての詳細は、NVIDIA サポートを参照してください。

 **メモ**：一部のコンピュータでは NVIDIA 3D アプリケーションがサポートされない場合があります。


3D ゲームのプレイ方法

1. フル画面モードでゲームを起動します。
2. 現在のモードが HDMI 1.4 対応ではないことを示すメッセージが表示された場合は、HD 3D モードでゲームの解像度を 1280 x 720 (720p) に設定します。

キーボードのショートカット

3D ゲームで使用できるキーボードショートカットの一部は次のとおりです。

キー	説明	機能
<Ctrl><t>	立体的 3D 効果の表示 / 非表示	3DTV Play のオン / オフ メモ : 3DTV Play が無効に設定されていても、HD 3D モードの使用時にゲームのパフォーマンスは低下する場合があります。パフォーマンスを最大化するには、3DTV Play の無効化時に HD または SD モードを選択します。
<Ctrl><F4>	3D の奥行きを増加	現在のゲームで 3D の奥行きを増加させます。
<Ctrl><F3>	3D の奥行きを減少させます。	現在のゲームで 3D の奥行きを減少させます。
<Ctrl><F11>		現在のゲームの 3D スクリーンショットをキャプチャし、そのファイルを ドキュメント フォルダ内のフォルダに保存します。このファイルを表示するには、NVIDIA 3D Photo Viewer を使用します。
<Ctrl><Alt><Insert>	ゲームの互換性メッセージの表示 / 非表示	現在のゲームに対する NVIDIA の推奨設定が表示されます。
<Ctrl><F6>	コンバージェンスの増加	オブジェクトを手前に移動します。最大コンバージェンスでは、領域内のすべてのオブジェクトがシーンの前に配置されます。このショートカットはレーザーサイトの配置にも使用されます。
<Ctrl><F5>	コンバージェンスの減少	オブジェクトを奥へ移動します。最小コンバージェンスでは、領域内のすべてのオブジェクトがシーンの後ろに配置されます。このショートカットはレーザーサイトの配置にも使用されます。

 **メモ** : 詳細については、NVIDIA アプリケーションのヘルプファイルを参照してください。

DellConnect

DellConnect は、デルの担当者がユーザーの監視のもとでユーザーのコンピュータにアクセスし、リモートで問題を診断および解決できるオンラインツールです。このツールは、テクニカルサポート担当者がユーザーの許可を得たうえで、ユーザーのコンピュータを操作することが可能になります。

DellConnect の要請は、トラブルシューティング中必要となったときにテクニカルサポート担当者によって開始されます。

 **メモ** : DellConnect および使用条件にアクセスするには、dell.com/DellConnect を参照してください。

オペレーティングシステムの復元

システムリカバリオプション

次のいずれかのオプションを利用して、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することができます。

△ **注意：Dell Factory Image Restore またはオペレーティングシステムディスクを使用すると、コンピュータ上のすべてのファイルが永続的に削除されます。可能な場合は、これらのオプションを使用する前にデータファイルをバックアップしてください。**

オプション	説明
Dell Backup and Recovery	オペレーティングシステムをリカバリする最初の解決策として使用します。
システム再インストールディスク	オペレーティングシステムの不具合によって Dell Backup and Recovery が使用できない場合や、新しいまたは交換したハードドライブに Windows をインストールするときに使用します。
システムの復元	ファイルに影響を与えずに、オペレーティングシステムの設定を以前のポイントインタイムに復元するのに使用します。
Dell Factory Image Restore	これは、オペレーティングシステムを復元する最後のオプションとして使用します。 この方法を使用すると、コンピュータ受取り後に保存またはインストールしたすべてのファイルやアプリケーションが削除されます。
Dell DataSafe Local Backup (Windows 7)	システムの復元で問題が解決しなかった場合に使用します。
オペレーティングシステム ディスク (Windows 7)	お使いのコンピュータにオペレーティングシステムのみを再インストールする場合に使用します。

Dell Backup and Recovery

 **メモ** : Dell Backup and Recovery オプションは Windows 8.1 でのみ利用可能です。

Dell Backup and Recovery には、次の 2 つのバージョンがあります。

- Dell Backup and Recovery Basic
- Dell Backup and Recovery Premium

機能	Basic	Premium
システムを工場出荷時の状態に復元する	✓	✓
手動でファイルをバックアップする	✓	✓
バックアップからファイルを復元する	✓	✓
クラウドから、またクラウドに対してバックアップおよび復元を行う (30 日経過後にこの機能を使用するには、クラウドストレージサブスクリプションをご購入いただく必要があります)	✓	✓
ファイルを継続的にバックアップしてデータロスを最小限に抑える	X	✓
フルシステムバックアップ (アプリケーションおよび設定を含む) を作成する	X	✓
複数のバックアップをマージして、古いバックアップをアーカイブする	X	✓
タイプに基づいてファイルをバックアップおよび復元する	X	✓

Dell Backup and Recovery Basic

Dell Backup and Recovery へのアクセス

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 検索チャームにアクセスします。
3. **アプリ** をクリックして、検索ボックスに Dell Backup and Recovery と入力します。
4. 検索結果リスト内の **Dell Backup and Recovery** をクリックします。

システム再インストールディスクの作成

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **ブータブルバックアップ** タイルをクリックします。
3. **ファクトリーバックアップ** をクリックします。
4. **USB Flash Drive** (USB フラッシュドライブ) または **Discs** (ディスク) を選択して、**Continue** (続行) をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

コンピュータの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックします。
3. **System Recovery** (システムリカバリ) をクリックします。
4. **Yes, Continue** (はい、続けます) をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

Dell Backup and Recovery Premium

△ **注意**：リカバリプロセス中に個人用ファイルを保護するオプションが提供されますが、リカバリオプションを使用する前に、個人用ファイルを別のドライブまたはディスクにバックアップすることをお勧めします。

■ **メモ**：Digital Delivery アプリケーションからコンピュータと一緒に Dell Backup and Recovery Premium を注文した場合は、Dell Backup and Recovery Basic を最初にダウンロードしてから Dell Backup and Recovery Premium オプションを取得する必要があります。

Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Backup** (バックアップ) タイルをクリックし、**Data Backup** (データバックアップ) を選択します。
3. **Upgrade to Dell Backup and Recovery Premium** (Dell Backup and Recovery Premium へのアップグレード) をクリックします。

システムデータの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Backup** (バックアップ) タイルをクリックし、**System Backup** (システムバックアップ) を選択します。
3. 画面の指示に従います。

フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックして、**Data Recovery** (データリカバリ) を選択します。
3. **Yes, Continue** (はい、続けます) をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックして、**Data Recovery** (データリカバリ) を選択します。
3. **Yes, Continue** (はい、続けます) をクリックします。
4. 検索ボックスにファイルまたはフォルダの名前を入力するか、復元するデータのタイプを選択します。
5. 画面の指示に従います。


フルシステムバックアップの作成

1. Dell Backup and Recovery を起動します。
2. **Recovery** (リカバリ) タイルをクリックして、**System Recovery** (システムリカバリ) を選択します。
3. **Yes, Continue** (はい、続けます) をクリックします。
4. 画面の指示に従います。


Dell DataSafe Local Backup

△ **注意** : Dell DataSafe Local Backup を永続的に使用すると、コンピュータ取り付け後にインストールしたプログラムやドライバは永続的に削除されます。Dell DataSafe Local Backup を使用する前に、コンピュータにインストールする必要のあるアプリケーションのバックアップメディアを準備してください。Dell DataSafe Local Backup は、System Restore でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用します。

△ **注意** : Dell DataSafe Local Backup はお使いのコンピュータのデータを維持するように設計されていますが、Dell DataSafe Local Backup を使用する前にデータをバックアップすることをお勧めします。

 **メモ** : Dell DataSafe Local Backup は、地域によってはご利用いただけない場合があります。

 **メモ** : Dell DataSafe Local Backup は Windows 7 でのみ利用可能です。

 **メモ**：お使いのコンピュータに Dell DataSafe Local Backup が搭載されていない場合は、Dell Factory Image Restore を使用してオペレーティングシステムを復元してください。

Dell DataSafe Local Backup には、次の 2 つのバージョンがあります。

- Dell DataSafe Local Backup Basic
- Dell DataSafe Local Backup Premium

Dell DataSafe Local Backup

機能	Basic	Premium
システムを工場出荷時の状態に復元する	✓	✓
DVD または USB メディアにシステム再インストールディスクを作成する	✓	✓
フルシステムバックアップを行い、以前に保存したポイントインタイムに復元する	X	✓
ファイルおよびフォルダをバックアップし、以前に保存したポイントインタイムに復元する	X	✓
ファイルタイプ (mp3、jpg など) に基づいてバックアップと復元を行う	X	✓
ローカルストレージデバイスにデータをバックアップする	X	✓
自動的にスケジュールされたバックアップを行う	X	✓

Dell DataSafe Local Backup Basic

 **メモ**：Dell DataSafe Local Backup は Windows 7 でのみ利用可能です。

Dell DataSafe Local Backup の起動

1. コンピュータの電源を入れます。
2. スタート  → **すべてのプログラム** → **Dell DataSafe** → **Dell DataSafe Local Backup** とクリックします。

システム再インストールディスクの作成

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Backup** (バックアップ) → **Create Recovery Media** (リカバリメディアの作成) をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

以前の日付の設定または工場出荷時の設定へのコンピュータの復元

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Restore**（復元） → **Restore your entire system to a previous date or to the factory state**（システム全体を以前の日付または工場出荷時の状態に復元する）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

Dell DataSafe Local Backup Premium

 **メモ**：ご購入時に Dell DataSafe Local Backup Premium をご注文いただいた場合は、お使いのコンピュータに事前にインストールされている場合があります。

Dell DataSafe Local Backup Premium へのアップグレード

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **UPGRADE NOW!**（今すぐアップグレード）をクリックします。

システムデータの復元

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Backup**（バックアップ） → **Full System Backup**（フルシステムバックアップ）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

ファイルおよびフォルダローカルバックアップを使用したデータの復元

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Backup**（バックアップ） → **File & Folder Local Backup**（ファイルとフォルダのローカルバックアップ）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

フルシステムバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元


1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Restore**（復元） → **Restore specific files or folders from a Full System Backup**（フルシステムバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元する）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

ファイル & フォルダバックアップからの特定のファイルまたはフォルダの復元

1. Dell DataSafe Local Backup を起動します。
2. **Restore**（復元） → **Restore specific files or folders from a File & Folder Backup**（ファイルおよびフォルダバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元する）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

Dell Factory Image Restore

△ **注意**：Dell Factory Image Restore オプションを永続的に使用すると、コンピュータ受取り後にインストールしたプログラムやドライバは削除されます。Dell Factory Image Restore を使用する前に、コンピュータにインストールする必要のあるアプリケーションのバックアップメディアを準備してください。

 **メモ**：Dell Factory Image Restore は、一部の国またはコンピュータで使用できない場合があります。

Dell Factory Image Restore は、オペレーティングシステムを復元する最後の方法として使用してください。このオプションは、ハードドライブ上のソフトウェアを初期の出荷時の状態に復元します。コンピュータ受取り後に追加したプログラムやファイル（ピクチャ、音楽、ビデオなどのデータファイルを含む）は永続的に削除されます。

Dell Factory Image Restore へのアクセス


△ **注意**：Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブ上のすべてのデータが永続的に削除され、コンピュータ受取り後にインストールしたプログラムやドライバも削除されます。可能な場合は、Dell Factory Image Restore を実行する前にデータをバックアップします。Dell Factory Image Restore は、その他のリカバリ方法に失敗した場合のみ使用してください。

オペレーティングシステムの起動に 2 回失敗した後は、起動シーケンスによってシステムリカバリオプションと自動修復の実行が自動的に試みられます。

Dell Factory Image Restore の開始

△ **注意**：Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブ上のすべてのデータが永続的に削除され、コンピュータ受取り後にインストールしたプログラムやドライバも削除されます。可能な場合は、Dell Factory Image Restore を実行する前にデータをバックアップします。Dell Factory Image Restore は、システムの復元ではオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. DELL ロゴが表示されたら、<F8> を何回か押して、**Advanced Boot Options**（詳細起動オプション）ウィンドウにアクセスします。

 **メモ**：キーを押すのが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合には、Microsoft Windows デスクトップが表示されてから、コンピュータを再起動して、再度やりなします。

3. **Repair Your Computer**（コンピュータを修復する）を選択します。**System Recovery Options**（システムリカバリオプション）ウィンドウが表示されます。
4. キーボードのレイアウトを選択し、**Next**（次へ）をクリックします。
5. ローカルコンピュータにログインします。

6. **Dell Factory Image Restore** または **Dell Factory Tools** (Dell Factory ツール) → **Dell Factory Image Restore** を選択します (コンピュータの設定に応じて異なります)。
7. **Next** (次へ) をクリックします。 **Confirm Data Deletion** (データ削除の確認) 画面が表示されます。
 - ✎ **メモ** : Dell Factory Image Restore をこれ以上進めたくない場合は、 **Cancel** (キャンセル) をクリックします。
8. チェックボックスをオンにして、引き続きハードドライブを再フォーマットし、工場出荷時の状態にシステムソフトウェアを復元することを確認し、 **Next** (次へ) をクリックします。復元プロセスが始まります。プロセスが完了するまでに、20 分以上かかる場合があります。
9. 復元の操作が終了したら、 **Finish** (終了) をクリックしてコンピュータを再起動します。

システムの復元

△ **注意** : データファイルは定期的にバックアップしてください。システムの復元では、データファイルの監視およびリカバリは行われません。

システムの復元は Microsoft Windows ツールであり、ドキュメント、写真、電子メールなどの個人用ファイルに影響を与えずに、コンピュータに対するソフトウェア関連の変更を元に戻すのに役立ちます。

ソフトウェアまたはデバイスドライバをインストールするたびに、その新しいソフトウェアまたはデバイスをサポートするよう、Windows システムファイルが自動的にアップデートされます。この自動アップデートが、予期しないエラーを招く場合があります。システムの復元は、ソフトウェアまたはデバイスドライバをインストールする前の状態に、Windows システムファイルを復元します。

システムの復元により、定期的な間隔で復元ポイントが作成され、保存されます。これらの復元ポイントを使用して (または、独自の復元ポイントを作成して)、コンピュータのシステムファイルを以前の状態に復元します。

ソフトウェア、ドライバ、またはその他のシステム設定に対する変更によって、コンピュータが望ましくない動作状態になっている場合には、システムの復元を使用します。

✎ **メモ** : 新しく取り付けたハードウェアが原因である場合は、そのハードウェアを取り外すか接続解除し、システムの復元を試みてください。

✎ **メモ** : システムの復元では、個人用ファイルはバックアップされないため、削除された、または損傷した個人用ファイルはリカバリできません。

Windows 8.1

システムの復元の使用



1. 検索チャームを開き、**設定** をクリックします。
2. **回復** をクリックし、**システムの復元を開く** をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

1. 従来の Windows デスクトップに切り替えます。
2. 設定チャームを開きます。
3. **コントロールパネル** をクリックします。
4. **システムとセキュリティ** をクリックし、**アクションセンター** をクリックします。
5. アクションセンターウィンドウの右下角で、**回復** をクリックします。
6. **システムの復元を開く** をクリックし、画面上の手順に従って前回のシステムの復元を元に戻します。



Windows 7

システムの復元の使用

1. **スタート**  をクリックします。
2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
 **メモ**：ユーザーアカウント制御が表示される場合があります。ユーザーがそのコンピュータの管理者である場合は、**続行** をクリックします。管理者以外のユーザーは、コンピュータの管理者にお問い合わせください。
3. **次へ** をクリックして、画面の指示に従います。

最後のシステムの復元を元に戻す

システムの復元により不具合が解決しなかった場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことが可能です。

- 
- メモ**
- ：前回のシステムの復元を元に戻す前に、開いているすべてのファイルを保存して閉じ、開いているプログラムを終了します。システムの復元が完了するまで、いずれのファイルおよびプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
1. **スタート**  をクリックします。
 2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
 3. **システムの復元の取り消し** をクリックしてから、**次へ** をクリックし、画面に表示される指示に従います。

オペレーティングシステムディスク

△ **注意**：オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールすると、すべてのデータおよびソフトウェアがお使いのコンピュータから永続的に削除されます。

■ **メモ**：オペレーティングシステムディスクはオプションのため、お使いのコンピュータに同梱されていない場合があります。

オペレーティングシステムディスクを使用して、コンピュータにオペレーティングシステムをインストールまたは再インストールすることができます。オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールした後は、すべてのドライバとソフトウェアを再インストールする必要があります。

オペレーティングシステムディスクを使用したオペレーティングシステムの再インストール

オペレーティングシステムを再インストールするには、次の手順を実行します。

1. オペレーティングシステムディスクを挿入し、コンピュータを再起動します。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押して起動メニューにアクセスします。

■ **メモ**：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、コンピュータがオペレーティングシステムをロードするのを待ち、その後コンピュータを再起動して操作をやりなおします。

3. リストから CD/DVD ドライブを選択し、<Enter> を押します。
4. 画面の指示に従います。

システム再インストールディスク


Dell Backup and Recovery を使用して作成したシステム再インストールディスクで、お使いのコンピュータのデータファイルを維持しながら、コンピュータ購入時の動作状態にハードディスクドライブを戻すことができます。

Dell Backup and Recovery を使用して、システム再インストールディスクを作成します。

システム再インストールディスクを使用したコンピュータの復元

システム再インストールディスクを使用してコンピュータを復元するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. システムリカバリディスクを光学ドライブに挿入するか、USB キーを接続してコンピュータの電源を入れます。
3. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押して起動メニューにアクセスします。

 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、コンピュータがオペレーティングシステムをロードするのを待ち、その後コンピュータを再起動して操作をやりなおします。


4. 復元使用するメディアをハイライトして、<Enter> を押します。
5. プロンプトが表示されたら、任意のキーをすばやく押して起動デバイスから起動します。
6. 画面に表示される指示に従って、リカバリ処理を完了してください。

トラブルシューティング

基本的なトラブルシューティング手順

本項では、コンピュータでよくある問題を解決するために使用することができる基本的なトラブルシューティング手順をいくつか紹介します。

- コンピュータのスイッチがオンであり、すべてのコンポーネントに電力が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルが対応するポートにしっかり接続されていることを確認します。
- ケーブルが損傷したり、擦り切れたりしていないことを確認します。
- コネクタのピンが曲がったり、壊れたりしていないことを確認します。
- コンピュータを再起動し、引き続き問題があるかどうかをチェックします。
- インターネットの接続問題については、モデムとルーターをコンセントから外し、約 30 秒待ってから、電源ケーブルを差し込んで接続を再試行します。

 **メモ:** トラブルシューティング、一般的な問題の解決方法、および FAQ については、dell.com/support を参照してください。テクニカルサポートについてデルにお問い合わせいただく場合は、「[デルへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

Diagnostics (診断)

お使いのコンピュータには、コンピュータの問題を判断するのに役立つ診断ツールが内蔵されています。これらのツールは、エラーメッセージ、ライトコード、またはビープコードを使用して問題を通知します。


起動前システムアセスメント

起動前システムアセスメント (PSA) を使用して、各種ハードウェア問題を診断します。ePSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

 **メモ:** コンピュータによっては PSA がサポートされない場合があります。

PSA の起動

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 起動メニューにアクセスするには、Dell のロゴが表示されている間に <F12> を押します。

 **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。


3. **Diagnostics** (診断) を選択し、<Enter> を押します。

4. 画面の手順に従ってテストを完了します。

コンポーネントがテストに失敗した場合は、テストが停止してピーブ音が鳴り、エラーコードが表示されます。エラーコードを書きとめて dell.com/support で解決策を検索するか、デルにお問い合わせください。

画面の手順に従って次のテストに進む、失敗したコンポーネントを再テストする、またはテストを停止してコンピュータを再起動します。

PSA が正常に完了すると、「No problems have been found with this system so far. Do you want to run the remaining memory tests? This will take about 30 minutes or more. Do you want to continue? (Recommended).」(このシステムには今のところ問題は見つかりません。残りのメモリテストを実行しますか? このテストには 30 分以上かかります。続行しますか? (推奨)) というメッセージが表示されます。メモリの問題が生じている場合は、<y> を押して続行します。それ以外の場合は、<n> を押してテストを終了します。

 **メモ**：テストを中止し、コンピュータを再起動するには、テスト中いつでも <Esc> を押します。

拡張 PSA

拡張起動前システムアセスメント (ePSA) を使用して、各種ハードウェア問題を診断します。ePSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

 **メモ**：コンピュータによっては ePSA がサポートされない場合があります。

ePSA のホーム画面は、次の 3 つのエリアに分かれています。


- **Devices** (デバイス) ウィンドウ — ePSA ホーム画面の左側に表示されます。このウィンドウには、コンピュータ内のすべてのデバイスが表示され、ここからデバイスを選択できます。
- **Control** (コントロール) ウィンドウ — ePSA ホーム画面の右下に表示されます。
 - コントロールウィンドウの **Thorough Test Mode** (徹底テストモード) チェックボックスをオンにすると、テストの範囲と期間が最大化されます。
 - ステータスバーがコントロールウィンドウの左下に表示され、テスト全体の完了率を示します。
 - 選択したデバイスをテストするには、**Run Tests** (テストの実行) をクリックします。
 - ePSA を終了し、コンピュータを再起動するには、**Exit** (終了) をクリックします。
- **Status** (ステータス) ウィンドウ — ePSA ホーム画面の右側に表示されます。

ステータスエリアには、次の 4 つのタブがあります。


- **Configuration (設定)** – ePSA を使用してテストできるすべてのデバイスについて、詳細な設定とステータス情報を表示します。
- **Results (結果)** – 実行されるすべてのテスト、それらのアクティビティ、および各テストの結果を表示します。
- **System Health (システム正常性)** – バッテリ、電源アダプタ、ファンなどのステータスを表示します。
- **Event Log (イベントログ)** – すべてのテストの詳細情報を示します。 **Status** (ステータス) 列には、テストのステータスが表示されます。

LCD BIST

LCD BIST (ビルトインセルフテスト) は、ディスプレイ問題の原因が LCD にあるか、その他の部分にあるかを判断するために役立ちます。テストで画面に異なる色やテキストが表示される場合があります。テスト中に問題が見受けられなかった場合は、その問題の原因は LCD 以外にあります。


 **メモ:** 周辺機器には、各機器特有の診断が備わっている場合があります。詳細については、周辺機器のマニュアルを参照してください。

LCD BIST の起動

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 起動メニューにアクセスするには、Dell のロゴが表示されている間に <F12> を押します。
 **メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。
3. **Diagnostics (診断)** を選択し、<Enter> を押します。
4. 画面に色付きの線が表示されない場合は、<N> を押して LCD BIST を起動します。

ePSA の起動

ePSA を起動するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータを再起動します。
2. 起動メニューにアクセスするには、Dell のロゴが表示されている間に <F12> を押します。
 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。
3. **Diagnostics** (診断) を選択し、<Enter> を押します。
4. 画面上の手順に従ってテストを完了し、表示されるエラーメッセージをすべて書きとめてください。

コンポーネントがテストに失敗した場合は、テストが停止してピーブ音が鳴り、エラーコードが表示されます。エラーコードを書きとめて **dell.com/support** で解決策を検索するか、デルにお問い合わせください。

画面の手順に従って次のテストに進む、失敗したコンポーネントを再テストする、またはテストを停止してコンピュータを再起動します。


PSA が正常に完了すると、「No problems have been found with this system so far. Do you want to run the remaining memory tests? This will take about 30 minutes or more. Do you want to continue? (Recommended).」というメッセージが表示されます。メモリの問題が生じている場合は、<y> を押して続行します。それ以外の場合は、<n> を押してテストを終了します。

ePSA がエラーで終了した場合は、「Testing completed. One or more errors were detected.」というメッセージが画面に表示されます。

Status (ステータス) ウィンドウの **Event Log** (イベントログ) タブに、ePSA テスト中に発生したエラーが表示されます。

ビーブコード

お使いのコンピュータにエラーまたは問題があると、起動中に一連のビーブ音が鳴る場合があります。ビーブコードと呼ばれるこの一連のビーブ音は、問題を識別します。ビーブ音が鳴ったら、ビーブコードを書きとめてデルにお問い合わせください。

 **メモ：** 次の表に記載されているビーブコードの一部は、お使いのコンピュータに適用されない場合があります。

ビーブコード 考えられる問題

1 回	システム基板の不具合の可能性 — BIOS ROM Checksum の失敗
2 回	RAM が検知されない メモ： メモリモジュールを取り付けたり交換したりした場合は、メモリモジュールが正しく取り付けられていることを確認してください。
3 回	システム基板の不具合の可能性 — チップセットエラー
4 回	RAM 読み取り / 書き込み障害
5 回	リアルタイムクロック障害
6 回	ビデオカードまたはビデオコントローラの不具合
7 回	プロセッサの不具合 メモ： このビーブコードは、Intel プロセッサ搭載のコンピュータでのみサポートされます。
8 回	ディスプレイの不具合

BIOS

BIOS はお使いのコンピュータのハードウェア情報を保存し、コンピュータの起動時にその情報をオペレーティングシステムに渡します。BIOS に保存された基本的なハードウェア設定は、セットアップユーティリティを使用して変更することができます。

BIOS セットアッププログラムは、次の操作のために使用することができます。

- ユーザーパスワードなどのユーザー選択可能オプションの設定または変更。
- メモリ容量、ハードドライブのタイプなどのコンピュータに取り付けられているデバイスの判別。
- コンピュータへのハードウェアを追加、変更、または取り外し後におけるシステム設定情報の変更。

BIOS 設定の変更

△ 注意：BIOS セットアッププログラムでの誤った設定は、コンピュータが起動しない、正しく機能しない、またはコンピュータが損傷する原因となる恐れがあります。

日付と時刻、起動デバイスと起動順序、PowerShare の有効化または無効化などの設定の変更が必要になる場合があります。設定を変更するには、BIOS セットアッププログラムを起動し、変更する設定を見つけて、画面上の手順に従います。

BIOS セットアッププログラムの起動


1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F2> を押して BIOS セットアッププログラムを起動します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。


BIOS パスワードのリセット

BIOS パスワードは、コンピュータにより優れたセキュリティを提供するために使用されます。コンピュータの起動時、または BIOS セットアッププログラムの起動時にパスワードのプロンプトを表示するようにコンピュータを設定することができます。

失った、または忘れてしまった BIOS パスワードをリセットするには、お使いのコンピュータのタイプに応じて、次のいずれかの方法を使用します。

 **注意：** BIOS パスワードのリセットには、CMOS からすべてのデータをクリアする作業を伴います。BIOS 設定のいずれかを変更した場合には、パスワードをリセットした後でそれらの変更を再び行う必要があります。

CMOS バッテリーの取り外し

 **警告：** コンピュータ内部の作業を始める前に、安全にお使いいただくための注意をお読みください。

ほとんどすべてのマザーボードにはコイン型バッテリーが使用されており、パスワードを含む BIOS 設定を保持に役立ちます。パスワードをリセットするには、コイン型バッテリーを取り外し、15～30 分待ってから、コイン型バッテリーを取り付けなおします。

 **メモ：** コイン型バッテリーの位置、およびその取り外しと取り付け手順の詳細については、dell.com/support で『Service Manual』（サービスマニュアル）を参照してください。

システム基板ジャンパの使用

デスクトップコンピュータ上のシステム基板のほとんどには、BIOS パスワードとともに CMOS 設定をクリアするためのジャンパが搭載されています。このジャンパの位置は、システム基板によって異なります。ジャンパは CMOS バッテリーの近くにあり、通常 CLR、CLEAR、CLEAR CMOS などのラベルが付いています。

それには 3 本のピンがあり、ジャンパは中央のピンと左または右のピンをつなぎます。ジャンパを取り外し、中央のピンを反対側のピンにつなぎます。数秒待ってからジャンパを取り外し、中央のピンを元のピンにつなぎます。

 **警告：** コンピュータ内部の作業を始める前に、安全にお使いいただくための注意をお読みください。

 **メモ：** ジャンパの位置とコンピュータ内での作業の詳細については、dell.com/support で『Service Manual』（サービスマニュアル）を参照してください。

起動順序の変更


オペレーティングシステムの再インストール、もしくはリカバリディスクまたは USB ドライブを使用するときなど、デフォルトデバイス以外のデバイスから起動する場合は、起動順序を変更する必要がある場合があります。

起動順序は、起動メニューまたは BIOS セットアッププログラムを使用して選択することができます。

起動メニューの使用

現在の起動用に設定されているコンピュータの起動順序を変更するには、起動メニューを使用します。選択したデバイスからコンピュータが起動するのは現在の起動のみであり、次にコンピュータを再起動するときはデフォルトデバイスに戻ります。


起動メニューを使用して起動デバイスを選択するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら <F2> を押して BIOS セットアッププログラムを起動します。
 **メモ**：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータを再起動して操作をやりなおします。
3. 上矢印キーまたは下矢印キーを使用して起動元のデバイスを選択し、<Enter> を押すか、起動デバイスの横に表示されている数字を押します。

BIOS セットアッププログラムの使用

起動のためにコンピュータが毎回使用するデバイスの順番を選択するには、BIOS セットアッププログラムを使用します。

BIOS セットアッププログラムを使用して起動順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. BIOS セットアッププログラムを起動します。
2. **Boot**（起動）タブを選択します。
3. チェックボックスを選択して、起動に使用されるデバイスを有効化または無効化します。
4. デバイスを上または下に移動させて、起動順序を変更します。
 **メモ**：リスト内の最初のデバイスが、デフォルト起動デバイスになります。

困ったときは / デルへの お問い合わせ

困ったときは

次のオンラインセルフヘルプリソースを使用して、Dell 製品とサービスの情報およびヘルプを入手できます。

セルフヘルプ情報

Windows ヘルプとサポートへの
アクセス

Dell 製品およびサービスについて
の詳細

トラブルシューティング情報、ユー
ザーマニュアル、テクニカルヘルプ
ブログ、ドライバ、ソフトウェアア
ップデートなど

Microsoft Windows オペレーテ
ィングシステムについての詳細

セルフヘルプオプション

Windows 8.1

検索チャームを開き、検索ボックスに **ヘルプ
とサポート** と入力して <Enter> を押します。

Windows 7

スタート  → **ヘルプとサポート** をクリック
します。


dell.com


dell.com/support

microsoft.com

デルへのお問い合わせ

セールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスに関するお問い合わせは、**dell.com/contactdell** を参照してください。

 **メモ**：ご利用状況は国や製品により異なるため、一部のサービスはお客様の地域
でご利用いただけない場合があります。

 **メモ**：インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、
または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

参考文献

コンピュータのメンテナンス

一般的なコンピュータ問題を回避するため、次のタスクを実行することをお勧めします。

- 電源への直接接続が可能で、換気が十分に行われ、表面が平らな場所にコンピュータを設置します。
- 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃が入らないようにしてください。
- 定期的にデータをバックアップします。
- 定期的にウイルススキャンを実行します。
- お使いのコンピュータで使用できる My Dell、およびその他ツールを使用して、コンピュータにエラーがないかをチェックします。
- 乾いた柔らかい布で、定期的にコンピュータを清掃します。

△ **注意：水やその他の溶剤を使用したコンピュータの清掃は、コンピュータを損傷する恐れがあります。**

- 内蔵ハードドライブに十分な空き容量があることを確認します。十分な空き容量がないと、パフォーマンスが劣化する場合があります。
- ソフトウェア問題に対応し、コンピュータセキュリティを向上させるため、Windows およびその他ソフトウェアの自動アップデートを有効にします。

電力管理

電力管理は、各種コンポーネントへの電力供給を調整することによって、コンピュータの電力消費を削減するために役立ちます。BIOS セットアッププログラムおよびオペレーティングシステムでは、特定のコンポーネントに対する電源供給を削減する、または切断する必要がある場合を設定することができます。

Microsoft Windows の一般的な省電力状態には、次のような状態があります。

- **スリープ** – スリープは、作業を再開するときにコンピュータをすばやく（通常は数秒内）フル電力で復帰させることができる省電力状態です。
- **休止状態** – 休止状態は、開かれたドキュメントやプログラムをハードディスク上に保存してから、コンピュータの電源を切ります。
- **ハイブリッドスリープ** – ハイブリッドスリープは、スリープと休止状態の組み合わせです。開かれたドキュメントとプログラムをメモリおよびハードディスク上に保存してからコンピュータを低電力状態にするため、作業を速やかに再開することができます。ハイブリッドスリープをオンにした場合、コンピュータをスリープ状態にすると、自動的にハイブリッドスリープ状態になります。

- **シャットダウン** – コンピュータのシャットダウンは、長時間コンピュータを使用する予定がないときに役立ちます。これによってコンピュータをセキュアに保ち、より多くのエネルギーを節約できます。コンピュータ内部にハードウェアを追加する、または取り外す前には、コンピュータをシャットダウンしてください。すぐに作業を再開する必要がある場合には、シャットダウンは推奨されません。


電源設定の実行

電源設定を行うには、次の手順を実行します。

Windows 8.1

1. スタート画面で任意の場所を右クリックします。
2. 画面の右下隅にある **すべてのアプリ** をクリックします。
3. **Windows システム** にある **コントロールパネル** をクリックします。
4. コントロールパネルがカテゴリ別に表示される場合は、**表示** ドロップダウンをクリックし、**小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
5. **電源オプション** をクリックします。
6. コンピュータの使用方法に応じて、利用可能なオプションリストからプランを選択できます。
7. 電源の設定を変更するには、**プラン設定の変更** をクリックします。

Windows 7

1. スタート  → **コントロールパネル** → **電源オプション** をクリックします。
2. コンピュータの使用方法に応じて、利用可能なオプションリストからプランを選択できます。
3. 電源の設定を変更するには、**プラン設定の変更** をクリックします。


電源ボタンの動作の設定

電源ボタンの動作を設定するには、次の手順を実行します。

Windows 8.1

1. スタート画面で任意の場所を右クリックします。
2. 画面の右下隅にある **すべてのアプリ** をクリックします。
3. **Windows システム** にある **コントロールパネル** をクリックします。
4. コントロールパネルがカテゴリ別に表示される場合は、**表示** ドロップダウンをクリックし、**小アイコン** または **大アイコン** を選択します。
5. **電源オプション** をクリックします。**電源ボタンを押したときの動作** の横にあるドロップダウンメニューから、電源ボタンを押したときのコンピュータの動作を選択します。
コンピュータがバッテリーで動作しているとき、および電源アダプタに接続されているときのために、異なるオプションを選択することができます。
6. **変更の保存** をクリックします。

Windows 7

1. スタート  → コントロールパネル → 電源オプション をクリックします。
2. 電源ボタンの動作を選択する をクリックします。
3. 電源ボタンを押したときの動作 の横にあるドロップダウンメニューから、電源ボタンを押したときのコンピュータの動作を選択します。
コンピュータがバッテリーで動作しているとき、および電源アダプタに接続されているときのために、異なるオプションを選択することができます。
4. 変更の保存 をクリックします。

駆動時間の改善


バッテリーの動作時間（バッテリーが充電を保持できる時間）は、ノートブックコンピュータの使い方によって異なります。

次を使用すると、バッテリーの動作時間が著しく減少します。

- 光学ドライブ。
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアカード、または USB デバイス。
- ディスプレイの高輝度設定、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションやゲームなどのその他の電力集約型プログラム。

バッテリーの性能は、次の方法で改善できます。

- 可能なときはコンピュータを AC 電源で動作させる。バッテリー寿命はバッテリーの放電および再充電の回数に伴って減少します。
- お使いのコンピュータの電力使用を最適にするため、Microsoft Windows 電源オプションを使用して電源管理の設定を行う（「[電力管理](#)」を参照）。
- コンピュータのスリープ/スタンバイ、および休止状態機能を有効にする。


 **メモ：**バッテリー寿命は、バッテリーを使用する頻度と使用する状況に応じて、時間の経過とともに減少します。

バッテリーの充電動作を設定して、バッテリー寿命を延長することができます。

Dell 長寿命モード


バッテリーを完全に放電させずに、コンピュータを頻繁に電源に接続したり、接続解除したりすると、バッテリー寿命が減少する場合があります。長寿命モード機能は、バッテリーの充電レベルを加減することでバッテリーの正常性を保護し、バッテリーの充電と放電が頻繁に繰り返されないようにします。

Dell ノートブックは、お使いのバッテリーの充電と放電動作を自動で監視し、該当する場合は、長寿命モードを有効にするように要求するメッセージを表示します。

 **メモ**：一部のコンピュータでは Dell 長寿命モードがサポートされない場合があります。

Dell 長寿命モードを設定するには、次の手順を実行します。


1. Windows タスクトレイのバッテリーアイコンを右クリックし、**Dell Extended Battery Life Options** (デル拡張バッテリー駆動時間オプション) をクリックします。**Battery Meter** (バッテリーメーター) ダイアログボックスが表示されます。
2. **Longevity mode** (長寿命モード) タブをクリックします。
3. **Enable** (有効化) をクリックして Dell 長寿命モードをオンにするか、**Disable** (無効化) をクリックしてオフにします。
4. **OK** をクリックします。

 **メモ**：長寿命モードを有効にすると、バッテリーはその容量の 88~100 % 間のみ充電されます。

Dell デスクトップモード


主に電源アダプタを接続した状態でコンピュータを使用する場合は、デスクトップモードを有効にしてバッテリーの充電レベルを加減することができます。これによって、充電と放電のサイクルの回数が減少し、バッテリー寿命が改善されます。

Dell ノートブックは、お使いのバッテリーの充電と放電動作を自動で監視し、該当する場合は、デスクトップモードを有効にするように要求するメッセージを表示します。

 **メモ**：一部のコンピュータでは Dell デスクトップモードがサポートされない場合があります。

デスクトップモードを有効化または無効化するには、次の手順を実行します。

1. Windows タスクトレイのバッテリーアイコンを右クリックし、**Dell Extended Battery Life Options** (デル拡張バッテリー駆動時間オプション) をクリックします。**Battery Meter** (バッテリーメーター) ダイアログボックスが表示されます。
2. **Desktop mode** (デスクトップモード) タブをクリックします。
3. 好みに合わせて **Enable** (有効化) または **Disable** (無効化) をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

 **メモ**：デスクトップモードを有効にすると、バッテリーはその容量の 50~100 % 間のみ充電されます。

移行のヒント

コンピュータの移行とは、2 台の異なるコンピュータ間でデータおよびアプリケーションを移動する作業です。コンピュータの移行が必要となる最も一般的な状況は、新しいコンピュータを購入したとき、または新しいオペレーティングシステムにアップグレードしたときです。

- △ **注意：移行を簡素化するユーティリティもいくつか存在しますが、ピクチャ、音楽、ドキュメントなどのファイルはバックアップすることをお勧めします。**

Windows オペレーティングシステムからの新しいオペレーティングシステムへの移行

新しいオペレーティングシステムに移行する際は、オペレーティングシステム間の移行について Microsoft 提供のガイドラインを参照してください。詳細については、www.microsoft.com を参照してください。

人間工学情報

- △ **注意：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**

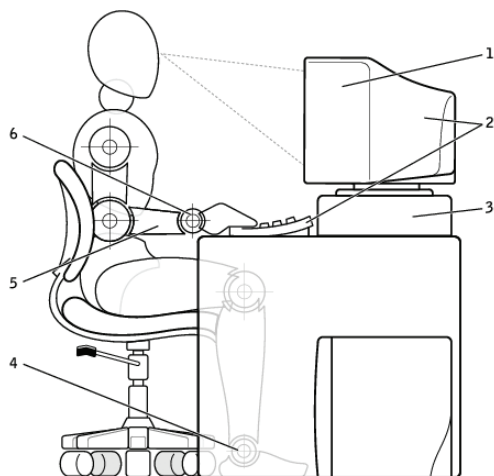
- △ **注意：モニタ画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。**

コンピュータを快適に効率よく使用するため、コンピュータのセットアップおよび使用時には、人間工学に関するガイドラインを使用してください。

ノートブックは継続的に操作するオフィス機器として設計されていない場合があります。ノートブックを継続的に使用する場合は、外付けのキーボードを接続することをお勧めします。

- コンピュータは、作業時にモニタとキーボードがユーザーの真正面になるように配置します。キーボードを適切に設置するために役立つ特別な棚を（デルおよびその他の提供元から）ご購入いただけます。
- 外付けモニタは見やすい距離に設置します。推奨される距離は、目から 510～610mm（20～24 インチ）です。
- モニタの高さは、正面に座ったときに目線と同じになるか、やや低くなるようにしてください。
- モニタの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、モニタ画面の反射を最小限に抑えます。
- 背中をしっかりとサポートする椅子を使用します。
- キーボードやマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- キーボードやマウスを使用する際に、手を休めることができるスペースを確保します。
- 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 足を床に着き、腿が水平になる姿勢で背筋を伸ばして座ります。
- 座ったときに、両脚の重みが椅子の前方ではなく、足に掛かるようにします。必要に応じて椅子の高さを調整するか足のせ台を使用し、正しい姿勢を保ちます。

- 作業活動に変化をもたせませす。長い時間入力作業を行う必要がないように作業を計画します。入力作業を止めたときは、両手を使う作業を行うようにしてください。
- 机の下やその周辺は、座り心地を悪くしたりつまずいたりする恐れのあるケーブルや電源コードなどの障害物がないようにしてください。



- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1 目線レベル、またはそれより下に
モニタを設置する | 4 足の裏は床につける |
| 2 モニタおよびキーボードは身体の
正面に設置する | 5 机は腕の位置と同じ高さにする |
| 3 モニタスタンド | 6 手首はリラックスさせて水平にする |

 **メモ**：最新の人間工学情報については、次のウェブサイトを参照してください。
dell.com/regulatory_compliance.

デルと環境

環境保護とは制限することではなく、可能性であり、よりよい方法を模索することです。

環境により選択をする機会は毎日ありますが、テクノロジーの選択となると、コスト、性能、または信頼性に妥協したくはありません。デルはそのような妥協はすべきではないと考えており、それが環境保護のために個人ユーザーや企業が妥協することがないようにデルが努力を重ねている理由です。

デルでは、真の環境問題にインパクトを与える実用的な製品とサービスを具体化することによってこの目標を実現しています。環境保護の核心は、より優れた方法が可能になる強力なアイデアであるからです。つまり時間、お金、資源を使用するためのより優れた方法、そしてこの世界で生活し、働き、成功するためのより優れた方法です。



竹材 — 環境に優しい自然の梱包ソリューション

地球の自然資源の維持に役立つ新しい方法を見出すという共通の目標を達成するため、デルでは環境への影響を最小限にする、実際的かつ革新的な梱包ソリューションを提供しています。梱包が少なくなるほど、お客様の手間も少なくなり、サイクル可能な梱包材は処分も簡単です。持続性材料は、地球にも優しい素材です。

竹の梱包材は、複数の Dell 製品の出荷に使用されています。廃棄処理が容易になるように、デルの竹梱包材には生分解性があり、Soil Control Lab から「コンポスト化可能」として認証されています。

デルでは責任のある調達がお客様にとって重要であることを認識しており、竹材はパンダの生息地から遠く離れた森林から調達しています。



植樹プログラムへの参加

デルでは、コンピュータ機器からの温室効果ガスの排出と、健康な地球を築くためのバランスを保つことを手軽にするため、木一本、森林ひとつずつ改善していく Plant a Tree プログラムを設置しました。

デルのリサイクル

コンピュータおよび電子装置のアップグレード時には、テクノロジーを世界の埋立地のゴミにしないための弊社運動にぜひご協力ください。デルでのご自宅または企業のコンピュータのリサイクルは、迅速、便利で、セキュアです。お客様自身、そして地球のために、信頼のおけるテクノロジーの処分は、デルにおまかせください。



規制順守ポリシー

詳細については、dell.com/regulatory_complianceにアクセスしてください。

規制順守ウェブサイトについての連絡先詳細

製品の安全性、EMC、または人間工学に関するご質問については、Regulatory_Compliance@dell.com まで 電子メールでお問い合わせください。

その他の規制順守情報

World Wide Trade Compliance Organization (WWTC) は、製品の分類を含む、デルの輸入および輸出規制順守を管理する責任を担っています。Dell 製システムに関する分類データは、製品に固有の安全情報、EMC、および環境データシートに記載されています。

Dell 製品の輸入または輸出分類に関するご質問については、US_Export_Classification@dell.com まで 電子メールでお問い合わせください。